

VOL.30

WEST 2025. August
TAKE FREE

MEG

Mixture
Entertainment
Guide

Cover Artist
Special Interview

佐藤 隆太

神戸の「あの時」の物語「明日を落としても」で
主演をつとめる舞台への思いを語った

BODY TO BODY
「踊る」という身体の芸術

Special Interview

熊谷和徳／いいむろなおき／真鍋大度
矢野顕子／市川團十郎／Satoshi Gogo
小沢道成／大阪松竹座「大阪は踊る!」／酒井有彩
堀 朋平×鈴木優人／神尾真由子／須川展也
阪 哲朗／杉原邦生／市川團子
〈掲載順〉



佐藤隆太

目の前で芝居が行われるということは、
すごく贅沢で豊かな時間

脚本をピンク地底人3号、演出を栗山民也が務める舞台『明日を落としても』は、
阪神・淡路大震災から30年となる2025年と発災当時の1995年を巡る、
老舗旅館を舞台にした神戸の「あの時」の物語。
主演の佐藤隆太は、「今、舞台に参加したいという思いが一層強くなっている」と明かす。

—— 演じられる老舗旅館の社長・桐野雄介という人物は、どんなキャラクターでしょうか。

1995年当時の雄介は、何かに熱中することもなく、どこかふわふわとした25歳。そんな彼が、牧島輝くん演じる17歳の神崎ひかると出会い、ボクシングを通して真正面から向き合うことで、少しずつ前に進む力を取り戻していきます。物語では震災から30年後、55歳になった雄介も描かれます。25歳と55歳の彼をどう表現するのか、僕も今から楽しみにしているところです。

—— この物語のどういったところに惹かれましたか？

一人の人間が抱える痛みや傷に人生をかけて向き合っていく姿に心を打たれました。観客の皆様にも、ご自分の人生と照らし合わせて共感してもらえるのではないかなと思います。静かに進む会話劇の中に、じんわりと心に染み入るような温かさがあり、素敵な作品だなと感じています。何より、栗山民也さんとまた一緒にできることがとても嬉しいです。

—— 7年前、2018年に舞台「アンナ・クリスティ」で初めて栗山さんの演出を受けられました。その経験は、

演劇や芝居に対して何か変化をもたらしましたか？

言葉にするのは難しいのですが…、役ではありますが、その人間の根底からセリフを放つ感覚をより大事にしたいというか、その役が放つエネルギー、生命力、そういったものをさらけ出して舞台に立つことを教わったように思います。栗山さんはそんなことを教えたつもりはないとおっしゃるかもしれませんが、僕は「アンナ・クリスティ」で演じたマット・パーク(篠原涼子演じるアンナ・クリスティに一目惚れする人物)というキャラクターや稽古場での時間から、そういったことを改めて強く思ったことを覚えています。

—— 佐藤さんは映像作品も多く出演されていますが、舞台で演じることにについて特別に意識されていることはありますか？

あまり意識はしないようにしています。ひとつの役を生きる、という点では基本的に舞台でも映像でもやるべきことは同じだと思っています。あとはそれを見ていただいた演出家に委ねる部分が大きいです。そんな風にあえてシンプルに考えているというか。舞台という場所、お芝居をしている時間がとにかく好きです。映像

作品も大好きですが、完成した作品を届けるという点では、どうしても一方通行になってしまいますよね。舞台は“生”のやり取りで、同じ芝居でも日々変化がある。それはその時に会場に集まってくださったお客様から発せられるエネルギーにも影響を受けていて、みんなで本番を作り上げているからで。双方通行のような感覚ですよ。そのライブ感がたまらなく好きなんです。自分が舞台上で演じる時も、観客として観に行く時も、すごく贅沢で豊かな時間だなと感じます。コロナ禍を経験して、なおさらそのありがたみを強く感じるようになりました。今はより一層、舞台に立ちたいという思いが強くなっています。

—— 幕が下りると同時にその役も消えていくという儚さも、哀愁があるといいますが、何とも言えない寂しさを感じます。

おっしゃる通りで、毎作品、大千穂楽のたびに「このセリフを言うのも今日が最後なんだな」と舞台上で意識しちゃうんですよね。こんなことを言うのは恥ずかしいですが、セリフを言った瞬間に、ファ～って目の前で消えていく感覚があるんです。だから大千穂楽では

「今まで何回も言ってきたけど、これが最後だから噛み締めて言おう」と好きなセリフに対して思うのですが、力みすぎちゃって嘔む、みたいな(苦笑)。きれいに消えず、ぐしゃぐしゃってなって消えてゆく…そんな悔しい思いをすることもあります。それも含めて舞台は本当に面白いです。

—— まさにライブですね。

あと、毎回、同じことをやりますが、その中で新しいものを見つけることも楽しみの一つです。

—— というのは？

本番の舞台上で、僕たちのエネルギーになるような新しいものを拾っていくというか…。まあいいや、照れくさいからこの話はやめよう(笑)。

—— そのお話、ぜひ聞きたいですね(笑)。

……舞台にパッと新しい花が咲くような感じです。稽古場やそれまでの本番で咲かなかったその花を見つけて摘み取ることで、また新鮮な気持ちで芝居が続けられるというか。どんなに細やかなことであっても、その日起こった良い変化を見逃さず、反応することで、勢いが増してゆく感覚。これも日々変化がある舞台だからこそですね。

—— 兵庫県立芸術文化センターには2024年の舞台「『GOOD』～善き人～」で初めて出演されましたが、ホールの印象はいかがでしたか？

ほんとに素敵な劇場です。音の響きもすごく良く、客席との距離感もちょうどいい。包み込まれるような雰囲気があって、自然と気持ちも乗ってくるんですよ。

ね。舞台に立った瞬間「ひとつになれる」と感じられる劇場は、本当にワクワクします。

©Interview & Text / 岩本和子
©Photo / 東間季司

10/11 SATURDAY～16 THURSDAY
【チケット発売中】
兵庫県立芸術文化センター
開館20周年記念公演
「明日を落としても」

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
■開演 / 10月11日(土) 16:00
10月12日(日)～16日(木) 13:00 ※14日(火) 休演
※10月12日(日) 13:00 アフタートークあり(登壇:佐藤隆太、牧島輝)
※10月13日(月) 13:00 バックステージアワー開催(要申込)
■料金(税込) / 全席指定 一般¥8,500 U-25¥2,500
■お問合せ / 芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255
(10:00～17:00 月曜休、祝日の場合は翌日)



Ryuta Sato
MEG Cover Artist Special Interview

熊谷和徳

KAZUNORI KUMAGAI
世界が認める日本人タップダンサー
神戸でスリリングなライブを展開!

ニューヨークと日本を拠点に世界で活躍するタップダンサー熊谷和徳が神戸へ！ベース、ピアノとの共演で展開されるダイナミックなセッションや、兵庫県内トップクラスの実力を誇る高校吹奏楽部とのコラボもあり、タップの可能性を存分に体験できるライブになりそう。熊谷氏にライブの見どころや修行時代の体験を突撃取材!

—— タップダンスに興味を持ったのはいつでしょう。

5歳のころマイケル・ジャクソンが大好きで、マイケルが影響を受けたダンサーが、フレッド・アステアやサミー・デイヴィスJr.といった往年のタップダンサーだと知りタップに憧れを持つようになったんです。でも、15歳の時にグレゴリー・ハインズ主演の映画『タップ』を観て、もっと土着的なものを感じたんですね。それと、楽器を演奏するみたいな感覚で「タップってカッコいい!」と思い、教室に通い始めどんどんハマっていったんです。

—— 19歳でニューヨークへ。どうやってタップを極めたのですか？

1996年当時、インターネットも出始めたころで情報も集めにくい環境でした。ある日、ジャズクラブに行ったら、なんと「タップ」に出ている人がいて「一緒に踊ろうよ」と誘ってくれたんです。それがほんとに衝撃的でした。マスター級のダンサーがこんなに身近にいるんだと、ちょうどプロドウェイで、黒人の歴史や日々の暮らしをタップで表現した「ノイズ&ファンク」というショーが始まった頃で、HIP HOPも全盛期。出演者のセヴィアン・グローバーはスターになっていました。タップのルーツは、黒人奴隷が踊りや歌を禁止され、足でリズムを刻んだことが始まりなので、出演者も黒人としてのアイデンティティをものすごく強く意識していたんです。僕にもこのショーのトレーニングをしている場所へ足を踏み入れるチャンスが来たんですが、彼らは、僕を日本人だからと追い返すのではなく「君も一緒にやろう」と受け入

れ、技術や知識を惜みなく授けてくれました。タップは彼らにとっての大事な文化で守るべき尊厳もある。それを確かめあいながら、他の人種や世代とも、分かち合い認め合う気持ちがあるんですね。それは、彼らがネガティブなものをアートとして昇華していきながら、いろんなものを飲み込んで生み出した優しさだよって、常を感じてきたんですけどね。

—— タイトル「Tap into the Light」に込めた想いとは？

この言葉は、東日本大震災以降、ずっと大切にしてきたものなんです。震災後、悲しい出来事に向き合いながらも、生活は続いている。被災者や被害者、それに、お客さんは演者を観ているように、実は自分の感情に向き合っているとも思うんです。だから、多分僕のタップでもお客さんみたいな感情の体験をしているんじゃないかな。今回は、ベースとピアノとのコラボのほか、高校の吹奏楽部のみなさんとも共演します。事前にワークショップを行って息を合わせる。これは一期一会の出会いになると思います。舞台では、関西のタップダンサーさんの飛び入り参加を期待していますし、今回がきっかけでタップや音楽のコミュニティが関西に生まれたいと思います。タップは、人と人を繋げるコミュニケーションツールでもあるので。

◎Interview&Text：田村のりこ

いいむろなおき

NAOKI IIMURO

僕らが企てている
“ごっこ遊び”を、お客さんも
一緒になって楽しんで

サン＝テグジュペリの小説『星の王子さま』の冒頭(頭)に登場する、ソウを丸呑みした巨大な蛇(ウバミ)の挿絵をモチーフにしたマイム作品が登場。80分間、7人のキャストは舞台に出ずっぱり、身体表現で物語を立ち上げる。

—— この作品は、初演が2009年、大阪で初めて上演されたそうですね。

はい。ただ、その時からもう全然違う作品になっています。『星の王子さま』をテーマにしたいなと思ってスタートして、2009年に大阪で、2011年にマカオで上演しました。いずれも一般市民の方を巻き込んだ作品づくりだったので、いくつかカンパニーのメンバー、つまりマイムの訓練されたメンバーと上演したいねと話していました。なかなか上演する機会がなかったのですが、去年、カンパニーとしてAIHALL(伊丹市立演劇ホール)で上演できました。それをさらに磨き上げて兵庫県立芸術文化センターでやろうという、そんな流れになっています。

—— なぜ『星の王子さま』の中からウバミを取り上げたのでしょうか？

『星の王子さま』は「大人は子どもの心を失ってしまった」という一面が取り上げられることが多いかと思っています。でも、『星の王子さま』にはもっといろんなことが詰まっています。いろんな受け取り方ができるのではないかなと思ったんですね。その時、最初に出てくる象を飲み込んだウバミの絵が浮かんで。大人たちに「これは帽子だ」と言われるシーン。だけど子どもは「あれは象だ」と主張する。ある意味、帽子でも、象でも、なんでもいい。想像力があれば、いろんなものを埋めていけるのではないかなと考えました。それと、やっぱりあのフォルムですね。ああいうユーモアからあげられないかなと考えました。

—— 今回はどのように進化を遂げるのでしょうか？

昨年は三面舞台でしたが、今回は正面のみになるので、正面から見ても一枚の絵画のように見えないかなと考えています。すごくカラフルな舞台になっています。また、声高に主張はしていませんが、2025年の世の中が抱えている問題なども少し取り入れています。

—— 作品を楽しむコツを教えてください。

やっぱり想像力ですね。「これは象なんだ」、「これは大きな蛇なんだ」って思った。だんだんそう見えてくる。お客さんがご自身の想像力で集中して、没入していくようなものがうまくつくれる。僕らが企てている“ごっこ遊び”を、お客さんも一緒になって楽しむような、みんな

マイム
マスターピース

◎Interview&Text：岩本和子
◎Photo：堀川高志(kutawans studio)



11/15 SATURDAY [チケット発売中]
いいむろなおきマイムカンパニー
「ゾウをのみこんだウバミの絵」
■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥3,000 U-25¥1,500(要証明書)
■お問合せ／芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255 (10:00～17:00 月曜休、祝日の場合翌日)

真鍋大度

DAITO MANABE

台湾を代表する
コンテンポラリーダンスカンパニーの
『WAVES』が衝撃の日本初上陸!

メディアアーティスト、プログラマー、音楽家と様々な顔を持つ真鍋大度が今回、クラウド・ゲイト・ダンスシアターの芸術監督で振付家の鄭宗龍(チェン・ゾンロン)とともにコンセプト・ビジュアル・音楽・プログラムを担当し作り上げたのが『WAVES』。わかりやすく表現すればシェフの要求に応え、様々な食材を調達する役割の作業を経て、結果、衝撃的なダンスパフォーマンス作品を生み出したということ。今回、京都で初上演を行う今作品のことについて話を聞いた。

—— まず、今作について教えてください。

2020年に私がオンラインで発表したダンス作品があるんです。脳活動データを解析するAIの技術を使って、振り付けを生成し僕のAvatarが踊りました。Avatarですから、重力や慣性、関節がどれくらい曲がるかなど身体の構造をあえて考えず作った作品だったので、実際に踊ることはできない振り付けでした。それを見た彼がいろいろと聞いたようで、僕のところにも連絡が来て、実際の人間に振り付けを考えてくれるような新作を作りたいということで、『WAVES』のプロジェクトがスタートしました。オンライン作品の技術がすぐに実際のダンサーにはまだ使えなかったんですが、ありがたかったことにスタートして前半は、ずっと宗龍とダンサーたちと共にワークショップをやったんですね。それをやりつつ僕が新しいシステムを作り、みんなで実験をしてさらに構築して、宗龍が振り付けを完成させていきました。『WAVES』はその名の通り「波」で、これは宗龍のコンセプトです。波は干涉や伝わるということを想起すると思うんですが、作品が完成してみるとそういった波に関することがうまく振り付けに織り込まれていると思いましたね。

—— 音楽も真鍋さんが作られていますが、先に制作されたんですか？

やはりダンス作品は音楽が重要ですから、コンセプトを自分の中で消化して、様々な音源を作って、宗龍のイメージに合うものをチョイスしていきました。今回のようながつりつきのコラボは初めてだったので、もうどれくらいの音源を作ったかわからないくらい試行錯誤を繰り返しながら、彼が構築していきましてけど、完成までは1年くらいかかりましたね。それこそ発表するギリギリまでやっていました。ただし、振り付けが決まったら音楽は変えなくてという条件があり、それは僕にとっては大きな課題で、普段ならダンスのために音源を作って振り付けができた音楽をアップデートするという感じだったので、…実はこのカンパニーは、振付家よりもダンサーたちの意見が優先されることがあり、例えば振付家が変わるといって相殺しても踊りにくくなるからと断られることもあって、音色にもかなりのこだわりがある。それこそアスリートみたいなタイプが揃っていて、互いにライバル意識も強いので群衆で踊ることは当然ですが、ソロもちゃんと立

ダンス
テクノロジー

つようにしている。だからこそ音源を変えないでほしいという条件を出されたのかと。それゆえ今となってはこういう条件も面白かったなと思います。今回、宗龍と僕が描く「波」というコンセプトを思い浮かべながらダンサーたちの踊り、そして視覚的、聴覚的效果を感じ、見ていただと、答え合わせになるとと思いますので、ぜひローシアター京都で体感してください。

◎Interview&Text：仲谷暢之(アラスカ社)



12/17 WEDNESDAY [チケット発売中]
クラウド・ゲイト・ダンスシアター(雲門舞集)
『WAVES』
■振付・コンセプト／鄭宗龍(チェン・ゾンロン)
■コンセプト・ビジュアル・音楽・プログラム／真鍋大度
■会場／ロームシアター京都 メインホール ■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥5,500
■ユース(25歳以下)¥3,000 ※18歳以下無料
■お問合せ／ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

BODY TO BODY

「踊る」という
身体のアート

国内外から最新のダンス公
ルは細分化され、歴史がある
るものなど、表現の幅は広
の進化と共に、あらゆる演出
は無限。身体が織りなす唯一

演が関西に集結! そのジャン
ものから、他ジャンルが融合す
がっています。またテクノロジー
がステージを彩り、その可能性
無二の芸術をご堪能あれ。



9/20 SATURDAY [チケット発売中]
「熊谷和徳 Tap into the Light」
■ダンス／熊谷和徳 ◎ベース／若見睦香 ◎ピアノ／高橋佑成
■コラレーション・ゲスト
■兵庫県立伊川谷北・神戸学園都市高等学校 吹奏楽部
■会場／西神中央ホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥4,500 高校生以下¥3,000
■お問合せ／西神中央ホールTEL.078-995-5638 (10:00～20:00 休館日除く)

世界で話題! 海外のDANCE

ピナ・バウシュ ヴツパタル舞踊団



Photo: Karl-Heinz Krauskopf

11/21 FRIDAY・22 SATURDAY [チケット発売中]
ピナ・バウシュ ヴツパタル舞踊団「Sweet Mambo(スウィート・マンボ)」

■会場／ロームシアター京都 メインホール ■開演／11月21日(金)19:00 11月22日(土)15:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥12,000 ¥8,000 ¥25,000 ¥5,000 ※18歳以下無料
■お問合せ／ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201



Photo: Karl-Heinz Krauskopf

**ピナ・バウシュ最晩年の作品を、
最愛のダンサーたちが踊り継ぐ!**

ダンスと演劇が共生する(タンツテアター)の手法による、斬新かつ衝撃的な話題作を次々と発表し、20世紀のダンス・演劇界を変えた振付家、ピナ・バウシュ。彼女がてがけた最晩年の作品『Sweet Mambo』が、ついに日本初上演、京都で32年ぶりとなる待望のステージ。

◎出演／ヴツパタル舞踊団 ◎演出・振付／ピナ・バウシュ

ピーピング・トム



©Virginia Rota

行き先不明のラブ&クルーズ

世界中に熱狂的なファンを持つダンスカンパニー、ピーピング・トムが2年半ぶりに再来日! 洋上の客室で、ひと癖もふた癖もある男女がおりなす不吉な一夜を、脅威の身体能力と独創的な世界観で描き出す。最高にスキャンダラスなダンスエンターテインメント。10月5日(日)にはワークショップもあり。

◎出演／ピーピング・トム ◎コンセプト・演出／ガブリエラ・カリノー&フランク・シャルティエ

10/4 SATURDAY [チケット発売中] **ピーピング・トム「トリプティック」**

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール
■開演／14:00 ■料金(税込)／全席指定 一般¥6,050 青少年(24歳以下)¥2,200
■お問合せ／びわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136

山海塾

天児牛大の最後の作品、関西初上演
4つに区切られた空間で男たちが見る一枚の夢



©Sankai Juku

◎出演／舞丸、竹内晶、市原昭仁、松岡大、石井則仁、岩本大紀、高瀬誠、伊藤社太郎

◎演出・振付・デザイン／天児牛大

11/1 SATURDAY [チケット発売中] **山海塾「TOTEM 真空と高み」**

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール
■開演／14:00 ■料金(税込)／全席指定 一般¥5,500 青少年(24歳以下)¥2,200
■お問合せ／びわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136

ダミアン・ジャレ×名和晃平



**世界的振付家ダミアン・ジャレと
京都発の彫刻家名和晃平によるコラボレーション**

『Planet[wanderer]』は、2016年秋にロームシアター京都で世界初演を迎えた『VESSEL』に続く作品。『VESSEL』が日本最古の書物『古事記』の二つの世界、「黄泉の国(死者の世界)」と「高天原(神の住処)」を描いたのに対し、『Planet[wanderer]』は三つ目の世界の「葦原中国」- 私たちが生きている世界を舞台にしている。

◎出演／ジョーン・アハーン、エミリオ・アラバゴ、カリマ・エル・ムラニ、フランチェスコ・フェラーリ、ヴィンセント・フレイト、クリスティアン・ギエフ、アストリッド・スウィーニー、湯浅永麻 ◎コンセプト・振付／ダミアン・ジャレ ◎コンセプト・舞台美術／名和晃平

11/8 SATURDAY・9 SUNDAY [チケット発売中]
ダミアン・ジャレ×名和晃平「Planet[wanderer]」

■会場／ロームシアター京都 サウスホール ■開演／11月8日(土)19:00 11月9日(日)15:00
■料金(税込)／全席指定 一般(一階席)¥7,000 一般(二階席)¥6,000 ユース(25歳以下)¥3,000 18歳以下¥1,000
■お問合せ／ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

NATIVE

**世界が認めるトップダンサーたちが魅せる
ありのままの音楽表現**

誰もが「特別」であり、誰もが「特別」ではない。ただ「個性」という魂の叫びが、自然と互いに共鳴し合い「ありのまま」の音楽を奏でる。そんな世界を求めて「NATIVE」を始動。一緒に心と心が響き合う瞬間を体験。

◎出演／NATIVE SENSE(YOKOI-IPPEI-SHUNJI-SO-MA-SOMA-Chihiro-Tomoka-Asuka-Kaz-mi-Yuuma) EL SQUAD、富田林市ダンス連盟 ほか
◎振付／YOKOI



9/20 SUNDAY [チケット発売中]
NATIVE SENSE ARTS PROJECT
『NATIVE』

■会場／すばるホール 2Fホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席自由(一部指定) 一般¥3,000 障がい者¥2,000 ※18歳以下無料
■お問合せ／すばるホール TEL.0721-26-2060

コンドルズ

**ダンス×生演奏×人形劇×映像×コント…
情熱のオールジャンルパフォーマンス**

性別年齢国籍籍不同、ノーボーダーなダンスカンパニー「コンドルズ」!迫力満点なダンスで客席を熱気で包む、激アツエンターテインメントが今年も兵庫へやってくる! 兵庫県立芸術文化センター開館20周年を盛り上げるべく、パワーアップしたステージをお届け。

◎出演／石淵聡、オウダサトシ、勝山康晴、香取直登、鎌倉道彦、きたろー、黒須育海、古賀剛、小林顕作(声の出演)、スズキ拓朗、橋爪利博、藤田善宏、安田有吾、山本光二郎、近藤良平

◎構成・演出・振付／近藤良平

9/20 SATURDAY [チケット発売中]
「コンドルズ 兵庫スペシャル公演 2025」

■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
■開演／13:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥5,000 ¥3,000
■お問合せ／芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255

読売テレビ

https://www.ytv.co.jp/event/



7/5 SATURDAY ~9/7 SUNDAY 深堀隆介展 水面のゆらぎの中へ

チケット発売中

金魚に魅せられ、創作を続ける美術作家・深堀隆介。透明樹脂にアクリル絵の具で何層にも重ねて描く[2.5Dペンティング]とも称される斬新な技法により立体感のある金魚を作り出してきました。その作品は、まるで目の前に水があり、命のある美しい金魚が泳いでいるかのような迫真性を観る者に与えます。水面の揺らぎの中にあるのは虚か実か、幻か現か。深堀は自身の作品をまるで生きているかのように「見せる」一方で、それを持たない絵の具の積層であるという事実に正面から対峙します。本展では初期の立体作品から、絵画、映像、大規模なインスタレーションなど新作を含む作品約300点を一挙ご紹介。

■会場／あべのハルカス美術館
■時間／【火～金】10:00～20:00 【土日祝】10:00～18:00
(入館は開館30分前まで)

■料金(税込)／一般¥1,600 大高生¥1,200 小学生¥500

■チケット取扱い／下記①②③④⑤

■Pコード／995-325 ■Lコード／55179

■お問合せ／あべのハルカス美術館 TEL.06-4399-9050

※障がい者手帳をお持ちの方は、美術館チケットカウンターで

購入されたご本人と付き添いの方1名様まで当日料金の半額



7/25 FRIDAY ~8/24 SUNDAY NAKED meets 二条城 2025 夕涼み

チケット発売中

世界遺産・二条城を舞台に、日本の「納涼」文化や、将軍や公家が過ごした夏の風情を、ネイキッドが現代のアートで再解釈。唐門前・二の丸御殿車寄せ前には、うちわや夏の花々など“涼”をテーマにした夕涼みエリアが登場し、趣ある空間を演出します。さらに、二の丸庭園や二の丸御殿などの歴史的建造物を引き立てるライトアップと幻想的な演出が広がります。光と音、香りが溶け合う空間で、五感すべてを通して味わう、現代の「納涼」体験をお楽しみください。

■会場／元福宮二条城

■時間／18:30～22:00(最終入場21:20)

■料金(税込)／【月～木】中学生以上¥1,800 小学生¥1,000

■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

■Pコード／995-593 ■Lコード／54684

■お問合せ／NAKED meets 二条城 運営事務局 TEL.06-7732-8890

※未就学児入場無料 ※会期中無休(雨天催行、荒天時は中止の可能性あり)

※都合により内容は予告なく変更する場合があります

※万が一の中止等は公式サイトや公式X(Twitter)にてお知らせします



9/20 SATURDAY 9/21 SUNDAY イナズマロック フェス 2025

チケット先行予約発売中

◎出演(50音順)／＝LOVE、なごのず(長野博+井ノ原快彦)、西川貴教、NovelBright、Fear、and Loathing in Las Vegas、もいろくローバーZ、T.M.Revolution、虹ヶ咲学園スクールアイドル同好会、FANTASTICS、FRUITS ZIPPER、YUTA(NCT) ほか

滋賀県ふるさと観光大使を務める西川貴教が発起人となり、琵琶湖の水質保全と地域振興をテーマに掲げ、毎年 琵琶湖で開催する、大型野外ライブイベント「イナズマロックフェス2025」を開催!今年で17周年目をむかえ、滋賀県草津市鳥丸半島芝生広場で2days開催!また今年、初めて開催地である滋賀県と、滋賀県草津市のふるさと納税返礼品として“イナズマロック フェス”の入場チケットが提供される。

■会場／滋賀県草津市 鳥丸半島芝生広場

■開演／各日12:00

■料金(税込)／IGA 20%券+21日券 ¥13,000

■チケット取扱い／下記①

■お問合せ／キョードーインフォメーション

TEL.0570-200-888(12:00～17:00 土日祝休業)

※3歳以上有料



10/12 SUNDAY 原口あきまさ30周年記念ライブ ～我夢謝裸 GAMUSHARA～

8/30(土)～チケット発売

◎出演／原口あきまさ ◎スペシャルゲスト／ロバート秋山、美光タカシ

原口あきまさ30周年記念ライブ、15年ぶりとなる単独ライブ「我夢謝裸(がむしゃら)」を開催!ジャンルを問わない幅広いモノマネはもちろん、豪華芸能人からのお祝いコメント、生バンドとの歌ネタショー、スペシャルゲストとのネタも見どころ!原口あきまさの魅力が凝縮される濃潤な時間をぜひ会場でお楽しみください!

■会場／松下IMPホール

■開演／15:00、19:00

■料金(税込)／全席指定¥7,000

■チケット取扱い／下記①

■お問合せ／キョードーインフォメーション

TEL.0570-200-888(12:00～17:00 土日祝休業)

※3歳未満入場不可



「MEG関西版」特別受付

◎右のQRコードよりお申し込みください

■受付期間／8月16日(土)10:00～28日(木)23:59

■枚数制限／お1人様4枚まで



10/15 WEDNESDAY 平成紅梅亭presents 「春風亭一之輔・桂宮治 二人会」 秋の二番勝負

チケット発売中

◎出演／春風亭一之輔、桂宮治

今、もっともチケットがとれない二人、春風亭一之輔と桂宮治が秋の大阪で夢の競演!誰もが惚れる実力派、春風亭一之輔、令和の爆笑王、桂宮治。人気、実力ともに落語界のトップを走る噺家二人が、至極のネタを各々2席披露します。また、仲の良いふたりならではの爆笑トークコーナーも必見!熱気のコもった高座でいったい何が飛び出すか!チケットは絶賛発売中!ぜひ、お見逃しなく!

■会場／NHK大阪ホール

■開演／18:00

■料金(税込)／全席指定¥5,500

■チケット取扱い／下記①②③④

■Pコード／527-524 ■Lコード／54626

■お問合せ／キョードーインフォメーション

TEL.0570-200-888(12:00～17:00 土日祝休業)

※未就学児入場不可

◎主催／読売テレビ、リバイコンサツ



9/27 SATURDAY ~12/14 SUNDAY 手塚治虫 ブラック・ジャック展

チケット発売中

本展は、500点以上の原稿に加え、連載当時の『週刊少年チャンピオン』や1970年代に発行された単行本、200以上のエピソードの直筆原稿が展示される「ブラック・ジャック」史上最大規模の展覧会です。「ブラック・ジャック」が描かれた昭和の当時の様々な出来事に影響を受けた作品や、手塚治虫の情熱と執念が感じられる当時の関係資料、「ブラック・ジャック」が生まれたときの秘密が解き明かされる証言映像などを多数展示。世界的に評価されている名作マンガ「ブラック・ジャック」のすべてを余すところなく体験できます。

■会場／あべのハルカス美術館

■時間／【火～金】10:00～20:00 【土日祝】10:00～18:00

(入館は開館30分前まで)

■料金(税込)／一般¥2,000(前売・団体¥1,800)

■大高生¥1,600(前売・団体¥1,400) 小学生¥500(前売・団体¥300)

■チケット取扱い／下記①②③④⑤

■Pコード／995-474 ■Lコード／55776

■お問合せ／あべのハルカス美術館 TEL.06-4399-9050

※障がい者手帳をお持ちの方は、美術館チケットカウンターで

購入されたご本人と付き添いの方1名様まで当日料金の半額



MANY DAYS ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2025

チケット発売中

ディズニー・アニメーションや映画、テーマパークなどの音楽を、オーケストラとヴォーカリストの生演奏でお贈りする、日本最大規模のオーケストラコンサート・ツアー。23回目の開催となる今年は「Circle of Life ～愛を感じて～」をテーマに、アニメーション映画「ライオンキング」をフィーチャー!友情や家族といった様々な愛を描いた感動的物語を、時を超えて心に響く音楽とともにお届けします。ニューヨークで活躍するヴォーカリストたちの歌やパフォーマンス、スクリーンの映像、そしてステージを彩る照明演出とともに、観て・聴いて・心で感じる「音楽体験」をお楽しみください。

〈堺公演〉◎10/4(土) フェニーチェ堺 大ホール

〈大阪公演〉◎10/24(金)・25(土) フェスティバルホール

■開演／【堺】10月4日(土)17:00

【大阪】10月24日(金)18:30 10月25日(土)14:00

■料金(税込)／公式ホームページで確認ください

■チケット取扱い／下記①②③④

■Pコード／298-998 ■Lコード／51508

■お問合せ／キョードーインフォメーション

TEL.0570-200-888(12:00～17:00 土日祝休業)

※未就学児入場不可



Presentation licensed by Disney Concerts. ©Disney

兵庫県立芸術文化センター

TEL.0798-68-0255

https://www.gcenter-hyogo.jp



【芸術の秋に楽しむ♪ギター公演】

9/12 FRIDAY cokiba(コキーバ) coba(アコーディオン)×沖仁(アラムコギター)

チケット発売中

◎出演／coba、沖仁、服部 恵 ◎曲目／リベラシゴ、マイウェイ ほか



アコーディオニストcobaとアラムコギタリスト沖仁が2人でしか表現出来ない新たな音楽をめざして2023年に立ち上げたユニット「cokiba(コキーバ)」!今回はパーカッションの服部恵も加わり、更に色鮮やかなステージを繰り広げます。『服部恵も加わり、更に色鮮やかなステージを繰り広げます。』※都合により内容は予告なく変更する場合があります

※万が一の中止等は公式サイトや公式X(Twitter)にてお知らせします

※未就学児入場不可

11/1 SATURDAY デヴィッド・ラッセル ギター・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／トロバドゥスベインの旗、マサ・ロンドンデニ、ザ・バード、エスター、ジャズ・チャールズ・チャップリンへのオマージュ ほか



数々の国際コンクールで優勝を果たし、2004年にはグラミー賞を受賞。ギターの神様と称されたセコピアも絶賛する、まさにギター界の巨匠デヴィッド・ラッセルが、待望の登場です!今回は、スペインゆかりの作曲家たちをラッセルならではの演奏でお楽しみします。

■会場／兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

■開演／14:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥5,000 ¥4,000

■チケット取扱い／下記①

※未就学児入場不可

10/17 FRIDAY チェリストたちの夜会 堤剛×イッサリス×横坂源×上野通明

チケット発売中

◎出演／堤剛、ステイジ・イッサリス、横坂 源、上野通明(チェロ)、沼沢 淑彦(ピアノ) ◎曲目／J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 ほか



同時代に生きる4人のトップチェリストによる音の祭典!チェロ界の巨匠、80代の堤剛をはじめ、60代のイッサリス、30代の横坂、20代の上野と、多世代の4人が運命的に出会い、同時代に共演が叶った奇跡的なアンサンブルです。チェロの世界に魅せられる賢淑な一夜をお楽しみください。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCOホール

■開演／19:00

■料金(税込)／全席指定 ¥4,000 ¥3,000 ¥2,000 ¥1,000

■チケット取扱い／下記①②③④

※未就学児入場不可

11/3 MONDAY HOLIDAY レイフ・オヴェ・アンスネス ピアノ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／ベートーヴェンピアノソナタ 第32番、シューマン「楽園楽」 ほか



グラミー賞11回ノミネート、グラモミー賞7回受賞の輝かしい経歴を誇るスターピアニスト、アンスネス。

「威厳ある優美さ、力強さ、洞察力を有するピアニスト」(ニューヨーク・タイムズ)の言葉を体現するような数々の曲が、アンスネスの魅力をあますところなく伝えてくれるでしょう。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCOホール

■開演／14:00

■料金(税込)／全席指定 ¥5,000 ¥4,000 ¥3,000 ¥2,000

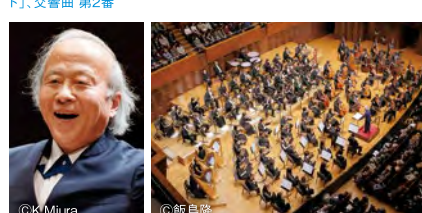
■チケット取扱い／下記①②③④

※未就学児入場不可

11/30 SUNDAY (シベリウス生誕160年) 尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団

チケット発売中

◎曲目／「シベリウス交響曲『ファンランド』」、組曲「ヘルマスとメリザンダ」、交響曲 第2番



日本が誇る名匠、シベリウスを極めた男・尾高忠明、重厚な弦と雄辯で美しい響打楽器が絶品の太夫ととともに、悲恋の物語「ヘルマスとメリザンダ」とファンランド、交響曲 第2番という超人気作品の輝けるプログラムをお贈ります。ふたたび、兵庫で伝説が生まれる瞬間、ぜひお立ち会いください!

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCOホール

■開演／15:00

■料金(税込)／全席指定 ¥6,000 ¥4,500 ¥3,000 ¥2,000

■チケット取扱い／下記①②③④

※未就学児入場不可

※本公演で営繕機材(PA)を使用します

チケット取扱い

①兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス ☎0798-68-0255(10:00～17:00 月曜休 ※祝日の場合翌日) https://www.gcenter-hyogo.jp

②チケット扱い https://t.lpia.jp ③ローンチケット https://t.hike.com ④イープラス https://eplus.jp

【芸術の秋を深める♪古楽公演】

9/20 SATURDAY 古楽の愉しみ 高田泰治 チェンバロ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／J.S.バッハイタリイ組曲 第5巻、W.F.バッハバフアンタジア 第7巻(Fakck21)、G.P.E.バッハバフアンタデルバクソナタ 第6巻(Wp49-6) ほか



神戸出身でドイツ在住の高田泰治さん。テレマ室内オーケストラのソリストとして活躍し、チェンバロやフォルテピアノを自在に弾きこなす鍵盤楽器のスペシャリストです。今回は、トークを交えながら華麗なるバハ一族の鍵盤音楽の魅力に迫ります。高田さんが紡ぐ、チェンバロの典雅な響きをお楽しみください!

■会場／兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

■開演／14:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥3,500 ¥2,500

■チケット取扱い／下記①

※未就学児入場不可

11/8 SATURDAY 古楽の愉しみ テオドロ・パウ & アンドレア・ブッカレツァ デュオ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／J.S.バッハイタリイ組曲 第5巻、W.F.バッハバフアンタジア 第7巻(Fakck21)、G.P.E.バッハバフアンタデルバクソナタ 第6巻(Wp49-6) ほか



ブルージュ国際古楽コンクールの覇者として、いま注目を集めているテオドロ・パウとアンドレア・ブッカレツァ。

“驚くべき才能”と賞賛される二人のデュオが実現しました。

古楽界に新風を吹き込む俊英、極上のデュオの演奏を、どうぞお楽しみください。

■会場／兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

■開演／14:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥5,000 ¥4,000

■チケット取扱い／下記①

※未就学児入場不可

10/25 SATURDAY ステップ・シリーズ 東京六人組 ～木管五重奏とピアノでオーケストラ名曲選!～

チケット発売中

◎出演／東京六人組【上野由希、寛 絵理子、金子 平、福士マリア、福岡伸三、三浦友理枝】 ◎曲目／ラヴェル・バレエ、ホルスト・木星 ほか



ジュビター、ボレロなど誰もが耳にしたことのある名曲をはじめ、オーケストラで演奏する曲をたった6人で奏でる音楽会。演奏するのは、東京を拠点に、全国、世界で活躍する音楽家集団「東京六人組」です。絳羅星のようなアンサンブルの音色で、音楽を聴く喜び、深めてみませんか。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCOホール

■開演／14:00

■料金(税込)／全席指定 ¥3,000 ¥2,500 ¥2,000 ¥1,000

■チケット取扱い／下記①②③④

※未就学児入場不可

※U-25チケット(A席のみは、公演当日25歳以下の方対象。入場時確認)

11/1 SATURDAY ひょうごの民俗芸能祭 第3弾 ～五国の川と文化遺産～

チケット発売中

◎総合プロデューサー・案内人 田辺眞人 ◎案内人 大塚みづみ ◎構成・台本 谷口雅子



2025年秋、兵庫五国の民俗芸能が西宮北口で一堂に会します!ナビゲーターは、県立兵庫津ミュージアム名誉館長の田辺眞人氏。『五国の川と文化遺産』をテーマに、時空を超えて人々の暮らしや風土を映し出す民俗芸能と出逢い、多様性に富んだ五国の文化にふれる祝祭空間へと誘います!

■出演／淡路:阿万の風流大踊小踊、淡路人形浄瑠璃、但馬:千谷組獅子舞、丹波:デカンショ節、水無月祭 打込囃子、播磨:恵比寿大黒舞、摂津:中国獅子舞

■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急・中ホール

■開演／14:00

■料金(税込)／全席指定 ¥1,000

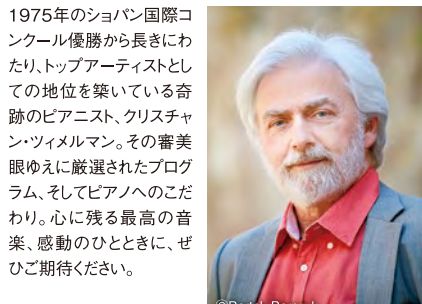
■チケット取扱い／下記①②③④

※未就学児入場不可

11/21 FRIDAY プロムナード・コンサート クリスチャン・ツィメルマン ピアノ・リサイタル

チケット発売中

※曲目は決まり次第ウェブサイトでもお知らせいたします



1975年のショパン国際コンクール優勝から長きにわたり、トップアーティストとしての地位を築いている奇跡のピアニスト、クリスチャン・ツィメルマン。その審美眼眼に厳選されたプログラム、そしてピアノへのこだわり、心に残る最高の音楽、感動のひとつに、ぜひご期待ください。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCOホール

■開演／19:00

■料金(税込)／全席指定 ¥10,000 ¥8,000 ¥6,000 ¥4,000

■チケット取扱い／

フェニーチェ堺

TEL.072-223-1000

[お問合せ](#)

https://www.fenice-sacay.jp/

[チケット購入OK](#)

9/12
FRIDAY

マーキー
FreeStyle カルチャー Talk

チケット発売中

◎ホスト／マーキー、AI(天の声) ◎トークゲスト／桂南光 ◎パフォーマーゲスト／桂 米穂 はか

関西を代表するラジオDJマーキーとAI(人工知能)の「異色のコンビ」が、ツワモノぞろいのゲストと繰り広げる、フリススタイルなカルチャートーク！初回ゲストは落語家の桂南光。

■会場／フェニーチェ堺 大スタジオ
■開演／19:00
■料金(税込)／自由席¥3,000
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／54499 ※未就学児入場不可

11/16
SUNDAY

全国共同制作オペラ
歌劇「愛の妙薬」(全2幕 新制作)

チケット発売中

◎作曲／ガエターノ・ドニゼッティ ◎演出／杉原邦生 ◎指揮／セバスティアノ・ロドリ ◎管弦楽／大阪交響楽団 ◎出演／高野百合絵(アディナ)、宮里直樹(ネモリン)、大西宇宙(ベルコル)、セルジオ・ヴァンデル・ドルカール(マウロ博士)ほか

全国の劇場・音楽堂、芸術団体等が連携し、単独では成しえない、独創的かつ高いレベルのオペラを新演出で制作するプロジェクト「全国共同制作オペラ」。今回は喜歌劇(オペラ・ブッフ)の傑作「愛の妙薬」を上演します！ギリギリ悲劇からスーパー歌舞伎、現代演劇まで多彩なジャンルで活躍する演出家・杉原邦生が您に翻弄される人間たちの愛らしさを「カワイイ」をキーワードに初演いたします。

■会場／フェニーチェ堺 大ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SW13,000 AV11,000 BV9,000 CV5,000
■チケット取扱い／下記①③④⑤⑥ ※未就学児入場不可



9/10
WEDNESDAY
～21
SUNDAY

だーれが描いた？
なにを？を描いた？
表現のフシギ展

入場無料

関西をリードする「やまなみ工房」「たんばの家」、地元・堺「カウの家」から、Amazingなアート作品がやってくる！展示作品の一部は音声解説付きで、制作の様子や作者のトビックスをご紹介します。

◎田村拓也

■会場／フェニーチェ堺 交流・創作カリア
■時間／9:00～20:00 ■料金／無料 ※9月16日(火)は休館

10/2
THURSDAY

音楽のあるひととき Vol.20
～フリップ・ジョン・ス・プラス・アンサンブルの功績～

チケット発売中

大阪交響楽団のメンバーとお届けする気軽に楽しめる、「1時間(ひととき)」のミニコンサート。シリーズ20回目を記念して大ホールの空間を贅沢に使用し、10名の金管楽器による大迫力の演奏を！

■会場／フェニーチェ堺 大ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 ¥4,500 ■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／302-769 ※未就学児入場不可

10/10
FRIDAY

まずはここから！ひろらくご第2回
「虎に翼 女に落語」

チケット発売中

入門編にもびったりな約75分の落語会に「まずはここから！ひろらくご」。第2回は、女性落語家のバイオウニア的存在である露の都と2021年入門のフレッシュな笑福亭喬明。トークコーナーもお楽しみに！

■会場／フェニーチェ堺 小ホール ■開演／13:00
■料金(税込)／全席指定 ¥1,500 ■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／302-769 ※未就学児入場不可

11/5
WEDNESDAY

鳳凰亭落語シリーズ
桂米團治独演会

チケット発売中

東西の人気落語家が集結する人気の落語会「鳳凰亭落語シリーズ」に、上方落語の花形・桂米團治が登場！品と色気が織り成す華やかな落語で、心地の良いひとときを。

■会場／フェニーチェ堺 小ホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 ¥4,000 ■チケット取扱い／下記①③④⑤⑥
■コード／535-604 ■コード／55850 ※未就学児入場不可

住友生命いずみホール

TEL.06-6944-1188

[お問合せ](#)

https://www.izumihall.jp

[チケット購入OK](#)

9/25
THURSDAY
9/26
FRIDAY

パッハ2025 綾なす調和 Vol.1
「線と無限」

チケット発売中

◎チェロ／ジャン・キアンダス ◎曲目／J.S.パッハ「無伴奏チェロ組曲全曲

「パッハ2025 綾なす調和」シリーズの幕開けは、「いま最も熱いチェリスト」、ケラスの「無伴奏チェロ組曲」。二夜連続で全6曲を演奏します。彼自身が、何度対峙してもなお「新たな体験が演奏に影響を及ぼし、必ず変化していく」と語る。まさに一期一会の音楽です。それを生み出す自在な即興性は稀有。チェロ一本が紡ぐ、その一瞬一瞬に心の底から湧き出でる無限の広がりを体感ください。

■会場／住友生命いずみホール ■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥6,000 U-30¥2,000 二夜連続券¥10,000
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／2662922 2662903 2662904
■コード／2662905 52335 2662906 52424
※未就学児入場不可
※U-30以下小学生～30歳以下(限定数②(オンライン)のみ取扱い)

10/24
FRIDAY

パッハ2025 綾なす調和 Vol.2
「パッハのプリズム」

チケット発売中

◎チェロ／佐藤俊介(ヴァイオリン)もアンサンブル入りはなずみ ◎曲目／J.S.パッハ「ヴァイオリン協奏曲全曲 BWV1042ほか

Vol.2には、作曲当時の演奏法を追求し、オランダ・パッハ協会の音楽監督を務めるなど、欧州の音楽界でも存在感を増す佐藤俊介が、信頼を寄せる演奏家たちと結成したアンサンブルを率いて登場。パッハを軸に、現存するパッハ族最古の作品や、パッハがフーガの主題に転用した他の作曲家の作品などを取り上げたプログラムには、今まで知らなかったパッハの輝きが満ちています。

■会場／住友生命いずみホール ■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥7,000 U-30¥2,500
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／292-905 ■コード／52478
※未就学児入場不可
※U-30以下小学生～30歳以下(限定数②(オンライン)のみ取扱い)

10/16
THURSDAY

モーツァルト
ピアノ協奏曲の旅
〈ウィーン編〉Vol.2

チケット発売中

◎出演／下野竜也(指揮)、藤川駿悟(ピアノ)、大阪フィルハーモニー交響楽団 ◎曲目／W.A.モーツァルト「交響曲 第25番・短協 K.183ほか



「モーツァルトの時代のオーケストラ作品は、室内乐的アプローチで創り上げるべき」という井上道義氏の提唱で始まったシリーズ。その信念を引き継いだ下野竜也が、大阪フィルとどのように親密で密着した響きを奏でるのか、期待が膨らみます。ソリストはいま注目の務川隼樹、ピアノ協奏曲20番は初挑戦です！交響曲とディヴェルティメントも合わせた住友生命いずみホールならではのプログラムをお聴き逃しなく。

■会場／住友生命いずみホール ■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥6,000 U-30¥2,000
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／298-547 ■コード／52667
※未就学児入場不可
※U-30以下小学生～30歳以下(限定数②(オンライン)のみ取扱い)

9/18
THURSDAY

ランチタイム・コンサート Vol.28
中川英二郎 自由な音の世界
～トプットロンボーン奏者を迎えて

チケット発売中

◎出演／中川英二郎(トロンボーン)、中川就登(ピアノ) ◎曲目／ジーマ・ビュー「明るい夜曲」V.モントパル・ダージュほか



映画やTV、CMの音楽、国内主要オケとの共演やJAZZフェスティバルへの出演、金管アンサンブル「侍BRASS」の楽団長など、ジャンルを越えて活躍する世界的トロンボーン奏者の中川英二郎が、甥の中川就登とセッションを披露。ジャズのスタンダードナンバーからクラシックの超絶技巧曲まで、音楽一家の絆が生み出す自由な世界は予測不可能です。ランチタイムに刺激的な「ライブ」をどうぞ！

◎「ホテルニューオータニ大阪 ランチセットプラン」もご用意♪

■会場／住友生命いずみホール ■開演／11:30
■料金(税込)／全席指定 一般¥3,000 ランチセットプラン¥7,000
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／298-548 ■コード／52734
※未就学児入場不可

茨木市市民総合センター (クリエイトセンター)

TEL.072-625-3055

[お問合せ](#)

https://www.ibabun.jp

[チケット購入OK](#)

クオリア エキサイティング クラシックコンサート

9/23
TUESDAY
HOLIDAY

チケット発売中

◎曲目／ベンディシヤコンスト ト長調 HWV435、シューマン「幻想曲 ハ長調 Op.17 第1楽章、ショーン・詩曲 Op.25、ラヴェル「弦楽四重奏曲 へ長調

茨木市から羽ばたけ！
精力的に活躍の場を展開する、茨木市在住の高校生アーティストがソロで出演！そして、いま最も波に乗っているヴァイオリニストの渡辺紗蘭が、日本を代表するトップアーティストと、室内楽の名曲、ラヴェルの弦楽四重奏曲で共演し、エキサイティングな時間をお届けします！

■ソロ／[第14回クオリア音楽コンクール 高校生の部 審査員特別賞 受賞]中村 晴(ヴァイオリン)、赤松舞音(ピアノ)

■室内楽／渡辺紗蘭(ヴァイオリン)、豊嶋泰嗣(ヴァイオリン)、林のぞみ(ヴィオラ)、上森祥平(チェロ)

■会場／茨木クリエイトセンターセンターホール
■開演／16:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥2,000 U25(25歳以下)¥1,000
■チケット取扱い／下記①③⑤
■コード／51958 ※未就学児入場不可



Satoshi Gogo 20th Anniversary Live ～ただいま、いばらき～

8/25(月)～チケット発売

◎出演／伍々 慧 ◎曲目／Libertango(Astor Piazzolla)、Autumn Leaves(Joseph Kosma)、Bluebird(Satoshi Gogo)、Distance(Satoshi Gogo)ほか

世界各地で活躍するギタリスト、コンポーザーSatoshi Gogo(伍々 慧)が、デビュー20周年を迎え、出身地・茨木で念願の凱旋公演を開催。アコースティックとクラシックギターの「二刀流」が紡ぐ、深く心に響く音色が、地元の空気と共鳴する…！12歳でギターを始め、15歳でギターコンテストを制覇。16歳でプロデビュー後、世界各国のチャートを席巻する楽曲を発表し、活動の場を世界へと広げました。デビュー20周年を迎えた今回のコンサートでは、アコースティックとクラシックギターを操り、集大成として年を重ねても弾き続けることが出来る古き良きカバー曲やオリジナル曲を披露します。故郷・茨木での念願の公演、特別な想いを込めて、風景や思い出を感じてもらえるように心に響く音楽をお届けします。

■会場／茨木クリエイトセンターセンターホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 ¥3,500 25歳以下 ¥1,000
■チケット取扱い／下記①③⑤ ■コード／53867
※未就学児入場不可



京都芸術劇場 春秋座

TEL.075-791-8240

[お問合せ](#)

https://k-pac.org/

[チケット購入OK](#)

11/1
SATURDAY
～3
MONDAY
HOLIDAY

京都芸術劇場 春秋座 藤間勘十郎 芸術監督プログラム
第二回 市川團子 新翔 春秋会

チケット発売中

◎出演／市川團子、市川笑野、市川猿楽、藤間勘十郎(特別出演) ◎演目／素踊り「種時三番見」清元連中、「藤娘」長唄囃子連中、三代猿之助四十八撰の内「流星」清元連中市川團子由乗り相助め申し候

市川團子、挑む。
市川團子の研鑽の場として、2024年から始動した「新翔春秋会」公演では、團子が全ての演目で初役に挑む。團子が三番見、藤間勘十郎が千歳を助める「種時三番見」、女方の登場門といわれる「藤娘」、そして團子が流星、市川猿楽が織女、市川笑野が牽牛を助めるコミカルな演目「流星」が披露される。特に「流星」では、平成3年に毛利臣氏氏が團子の祖父・三代目猿之助(二代目猿翁)のためにデザインした特別な衣裳を身に着けるのも見どころ。

■会場／京都芸術劇場 春秋座
■開演／11月1日(土)・2日(日)11:00、15:00 11月3日(月・祝)11:00
■料金(税込)／全席指定 SW12,000 AV10,500 BV9,000 学生&ユース席(25歳以下)¥4,500
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／535-896 ■コード／52271
※未就学児入場不可 ※学生&ユースは要証明書(座席範囲指定あり) ※学生&ユースは①のみ取扱い



滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

TEL.077-523-7136

[お問合せ](#)

https://www.biwako-hall.or.jp/

[チケット購入OK](#)

10/4
SATURDAY

ピーピング・トム
「トリプティック」

チケット発売中

◎コンセプト演出／ガブリエラ・カローラ&フランク・シムルティエ



現代の「ピナ・バウシュ」と呼ばれるベルギーのダンスカンパニー ピーピング・トム、驚異の身体能力を持つダンサーと目を見張るトリックが話題の三部作「トリプティック」(「ミッシング・グッド」「ロスト・ルーム」「ヒドゥンフロア」)待望の来日公演。

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール
■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 SW4,400 AV3,300 BV2,200 CY1,100 青少年(24歳以下)S～B席¥1,650
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／293-640 ■コード／56816
※6歳以上入場可 ※リサーチ・マイク・チケットは②のみ取扱い

10/11
SATURDAY

名曲コンサート 華麗なるオーケストラの世界 vol.8
大井 駿×
日本センチュリー交響楽団

チケット発売中

◎出演／大井 駿(指揮・ピアノ)、日本センチュリー交響楽団 ◎曲目／ベートーヴェン「ピアノ協奏曲 第4番、ブラームス「交響曲 第4番」ほか

オーケストラの名曲を本格的な演奏でお贈りする「華麗なるオーケストラの世界」シリーズ。第8弾となる今回は、指揮、ピアノ、古楽、さらには文筆活動といった、さまざまな分野で活躍する多才な若手音楽家・大井 駿の弾き振りで、ベートーヴェンとブラームスの傑作をお贈りします。

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SW4,400 AV3,300 BV2,200 CY1,100 青少年(24歳以下)S～B席¥1,650
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／293-640 ■コード／56816
※6歳以上入場可 ※リサーチ・マイク・チケットは②のみ取扱い

10/13
MONDAY
HOLIDAY

特別コンサート
ルチアーノ・ガンチ
テノール・リサイタル

チケット発売中

◎出演／ルチアーノ・ガンチ(テノール)、浅野美生(ピアノ)

輝かしい声で注目を集めるテノール歌手 ルチアーノ・ガンチがびわ湖ホールに初登場。出身でオペラ・アリアの歌曲やオペラ・アリアを存分に披露します。
■曲目／ブッチーニ:オペラ「トスカ」より「星は光りぬ」、デクランティス:唄れソレントへ、レオンカヴァッロ:朝の歌ほか

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SW5,500 AV4,400 青少年(24歳以下)¥1,650
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／293-605 ■コード／56819
※6歳以上入場可

11/1
SATURDAY

山海塾
「TOTEM 真空と高み」

チケット発売中

◎演出・振付・デザイン／天児牛大の美術・中西夏之「カルテット」(青森と鶴巻「シリーズ」より)◎音楽・加古 隆、河川清一郎



2024年3月に逝去した主宰・天児牛大の最後の作品(2023年世界初演)を関西では初めて上演します。画家の故・中西夏之の「着陸と着水」シリーズから着想を得た舞台美術を用いた最新作「TOTEM 真空と高み」。終演後、鶴丸・吉川洋一郎によるゲストパフォーマンス・トークあり。

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥5,500 青少年(24歳以下)¥2,200
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■コード／532-888 ■コード／56841
※6歳以上入場可

チケット取扱い ①京都芸術劇場チケットセンター ☎075-791-8240(平日10:00～17:00) https://k-pac.org/ticket/ ②びわ湖ホールチケットセンター ☎077-523-7136(10:00～19:00 火曜休館) https://www.biwako-hall.or.jp/ ③チケットびあ https://t.pia.jp ④ローンチケット https://l-like.com ⑤イープラス https://eplus.jp

20の国と地域から68作品・アジアの映画に出会う夏の10日間

第21回
大阪アジア映画祭
OSAKA ASIAN FILM FESTIVAL EXPO2025-OAFF2026

8/29
Fri
2025
oaff.jp
9/7
Sun

ABCホール テアトル梅田 T・ジョイ梅田 大阪中之島美術館 大阪市中央公会堂

チケット取扱い ①堺市文化振興財団チケットセンター ☎0570-08-0089 ②住友生命いずみホール チケットセンター ☎06-6944-1188(10:30～17:00 日・祝日休業) https://www.izumihall.jp/ticket/ ③茨木市文化振興財団 ☎072-625-3055 https://www.ibabun.jp/ ④チケットびあ https://t.pia.jp ⑤ローンチケット https://l-like.com ⑥イープラス https://eplus.jp ⑦フェニーチェ堺公式HP https://www.fenice-sacay.jp/ ⑧フェニーチェ堺総合窓口(9:00～20:00 第1・3日曜日休館) 堺市堺区鶴橋町2-1-1



SPECIAL INTERVIEW 04 小沢道成 Michinari Ozawa

命と宇宙の物語をパペット×映像テクノロジーの融合で描く、極上の演劇体験

大切な人を失った喪失感とどう対峙すればいいのだろうかを問う舞台 EPOCH MAN「我ら宇宙の塵」。2023年の初演では第31回読売演劇大賞の3部門を受賞し、演劇界の大きな話題となり、今年6月にはロンドン公演も成功させた小沢道成。作・演出・美術・出演を兼ねている彼に、今回、再演される作品のことについて話を聞いた。

— まず、今作について教えてください？

話としては亡くなった父の行方を探している少年・星太郎と、いなくなった息子を探す母を描いたもので、その途中に様々な人に出会って、それぞれが「死」に対する価値観、喪失感などに向き合っています。特徴としては小劇場ではまずなかった舞台全面にLEDディスプレイを設置してそこに映像を流してセットとし、その中で役者と、彼らが操演するパペットで表現する作品です。

— この作品のアイデアはどういうところから生まれたのでしょうか？

16歳から役者をやっているような舞台に出させてもらったり見たりしていて、なんで生の演劇なのに、映像を使うんだろ？と思っていたんです。だけど、テクノロジーの発達で映像とも付き合っていくかなきゃいけないと感じて、では、自分も映像を使うならプロジェクションマッピングよりも、LEDディスプレイの解像度の高いものなら、苦手だと思っていた映像とも向き合えるかもしれない。そして真逆にある、人間が扱うパペットを使ったらどうだろうってことで、今作は始まりました。けれどストーリーは全くできていなくて、その組み合

わせと繋がる物語はなんだろうって考えているうちに、パペットは宇宙が好きで少年だとして、LEDで宇宙を表現し、その星のひとつが亡くなったお父さんであるということにして…という風にしていこうと組み上がっていきました。元々自分自身が視覚的な面白さから入り、そこに意味づけをうまくマッチさせないと物語が生まれないと思ったので、結果として今作はうまく着地できたと思います。

— ロンドンでの公演を経て、今回の再演は変化する部分はあったりしますか？

ロンドンでは、スタンディングする人もいるし、立たない人もいる。笑うところも笑ってくれるし、つまらないところはそのう態度で示されるという風に、観客の反応がダイナミックに伝わってきたので、まだまだだと思った反面、ブラッシュアップする部分もわかったのをそれらを反映したものになります。それと、ロンドンでも行いましたが、生で手話通訳を見ていただける日もあります（※11月9日（日）14時開演）。これはぜひ行いたかったので、聞かえない・聞こえづらい方にもぜひ足を運んで演劇を楽しんでいただければと思います。あと、今回は映像も増やす部分と削る部分もありますし、パペットも新しいものに

変わります。

— 今回、関西出身の小沢さんにとって大阪での公演はいかがですか？

10代の際は京都で役者をやっていた、大阪でも何度も舞台を踏んではいますが、EPOCH MANという自身の演劇プロジェクトで公演するのは初めてなので、「めっちゃ嬉しいです（関西アクセントで）」。

©Interview&Text / 伴信暢之(アラスカ社) ©Photo / 滝野利雄

11/6 THURSDAY～10 MONDAY 「EPOCH MAN」我ら宇宙の塵

◎作・演出・美術：小沢道成
◎出演：進倉のぶる、渡瀬より、栗原田中実、きたる一、小沢道成
◎会場：劇団ミュージアムキヤッパ CUBE01
■開演：11月6日（木）7日（金）19:00
11月8日（土）9日（日）14:00、18:00
11月10日（月）14:00
■料金（税込）／全席指定：A¥6,500 B¥4,500 C¥2,500
■お問合せ：momocan TEL.03-6407-8987（平日10:00～18:00）

REPORT

大阪松竹座10月公演『大阪は踊る!』

道頓堀に石油が沸いた?！
奇想天外な高遠響の同名小説「大阪は踊る!」を初の舞台化

そんなアホなか？笑劇エンター・ファンタジーを、主演に十代の頃から大阪松竹座に出演している浜中文一を迎え上演する。個性豊かな出演者が集い、笑い巻き起こるごややかな記者会見がおこなわれた。

会見には、演出家の川浪ナミヲ、主演の浜中に加え、美人レポーター役の元宝塚歌劇団の有沙 瞳、官房長官役には「ボケモン」サトシ役の声優として印象的な松本梨香、総理大臣役には前田耕陽、さらに道頓堀商店街組合の会長役には海原るか、市長役には松竹新喜劇のベララン俳優、曾我廬家寛太郎が出席した。

「道頓堀に石油が沸いたら、そら街のみんながワイワイ」となるわけですが、そんな話のなかでも大阪の街の力や、みなさんの住む街の幸せなどを考える作品になると嬉しい」と、舞台を観て街に対する思いを馳せてはいない川浪が語った。

「この作品で、1年ぶり松竹座に帰ってくることで、嬉しい。お世話になっている川浪さんと、またお芝居できるのが楽しみ」と、主演の浜中も十代からの付き合いである川浪とのタッグに期待を表した。有沙は「さっきあったばかりなのに、皆さん明るくて楽しくて!」と、すでにわきあいあい仲間として盛り上がる共演者の印象と、正月の南座の松竹新喜劇についての松竹公演への出演を、喜びがふれる表情で語った。

「大家演劇の座長だった父が、きっと天国で松竹座出演に喜んでる!」と松本は、「ボケモンのサトシで声優イメージが強いですが、素数な舞台でもお芝居できるのが嬉しい。見に来たみんなの心をグッとだ!したいです（笑）」と、笑いを誘った。

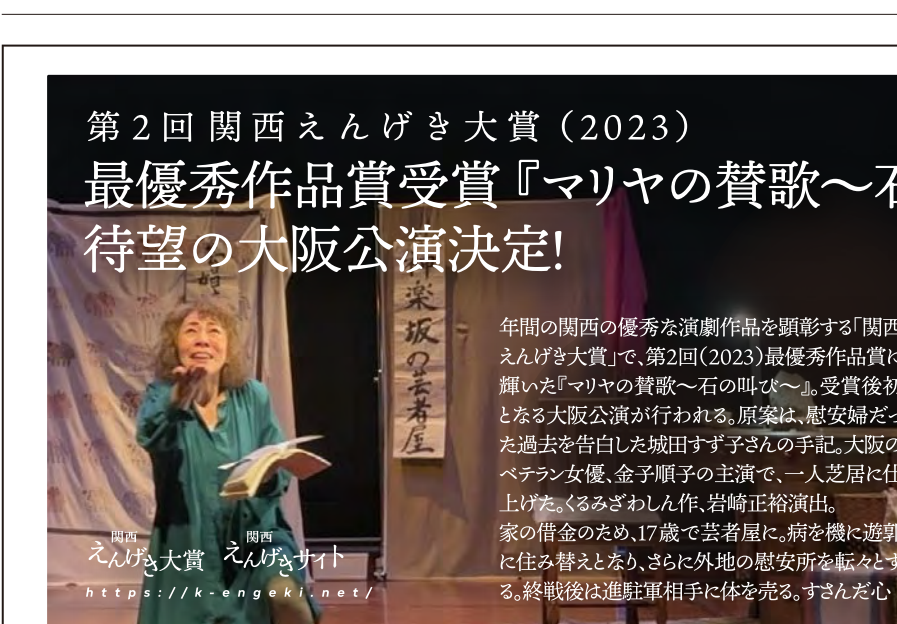
「大阪府民になって20年、いまでも松竹座に出たい出たい!」と語っていたに、全然叶わず。ようやく念願の松竹座の舞台に立てるので、今から楽しみになっています」と、浜中が意気込みを見せた。皆が松竹座の舞台に立てる喜びを語るなか、ベララン漫才師はかが、「役

者夢を見て大阪にできて75歳を過ぎましたが、今回は年齢設定50歳!の役、若さをアピールして、商店街の会長役をつとめたいと思います!」と、ベラランの風貌でフレンチスリムな意気込みを語った。「大阪松竹座で、今回こんなに個性豊かな皆様と舞台に立てる、またタリムに大阪がつぶさな、なかなか珍しいので、観に来られるお客さんの期待も大きいと思います。大阪市長役は責任を感じながら、大阪を元気にできるような芝居になるよう、力を注ぎたい」と、曾我廬家寛太郎がめくった。個性的なみんなを座長としてどうまとめるか?と問われた浜中では、「みんなをまとめるのは無理!（笑）それぞれでやっていたいて、逆におもお借りしたい」と、放任を宣言。丸投げされた川浪は苦笑いを見せた。また、関西ジュニア時代から大阪松竹座の舞台に立つ浜中は、「家に帰ってきたみたいに落ち着く」と話し、「松竹座のお風呂が大好きなんですよ、良いお風呂なんですよ。いろんな劇場のお風呂に入ってきたけど、やっぱりここのお風呂が一番!」そう語る中、会場を和ませた。初訪劇のメンバーもあるなか、記者会見で見えた俳優界のバランス良い優しい雰囲気は、松竹座ならではのハーモニーで舞台になること間違いなし。

©Text / 紅粉チョコ ©Photo / 井川由香

10/4 SATURDAY～12 SUNDAY [チケット発売中] 松竹創業半三十周年「大阪は踊る!」

■会場：大阪松竹座 ■開演：各日11:00、15:30 ※7日（木）10日（金）は休演
■料金（税込）／全席指定：一席¥12,000 二席¥9,000 三席¥5,000
■お問合せ：チケット松竹 TEL.0570-000-489



SPECIAL INTERVIEW 05

酒井有彩 Arisa Sakai

ラヴェル生誕150年の年に、
演奏とトークで綴るスペシャルなりサイト

独奏に室内楽、オーケストラとの共演から東京混声合唱団の伴奏まで、多方面において精力的に活動するピアニスト酒井有彩。歌心溢れる彼女、実はラヴェルの素顔を綴くピアニストなのだ。記念の年に行う特別ななりサイトについて酒井が語ってくれた。

独奏に室内楽、オーケストラとの共演から東京混声合唱団の伴奏まで、多方面において精力的に活動するピアニスト酒井有彩。歌心溢れる彼女、実はラヴェルの素顔を綴くピアニストなのだ。記念の年に行う特別ななりサイトについて酒井が語ってくれた。

— 今年はラヴェル生誕150年ということで、ラヴェルのオファーが多いのではないのでしょうか、酒井さんにとってラヴェルはどんな作曲家ですか、曲の魅力を教えてください。

ラヴェルの音楽は緻密で精巧、斬新なハーモニーに彩られながらも、常に洗練され、エレガンスにあふれています。10代の頃から折に触れて演奏し、そのたびに魅了され続けてきた、私にとって特別な作曲家のひとりです。ラヴェルの愛弟子ヘルムスツールの流れを汲む、留学時代の恩師ジャック・ルヴィエ先生、先生が録音された「ラヴェル ピアノ作品集」は、私が10代の頃から大切に聴き続けてきたアルバムで、ラヴェルの世界に惹かれていた原点のひとつでもあります。いつかオール・ラヴェルのプログラムでリサイタルを開きたい、そんな想いをずっと心の中に抱いてきました。それが、ラヴェルのメモリアルイヤーに実現できたことを、とても嬉しく思っています。また、2019年のデビューアルバムでは、飯森龍親さんの指揮、日本センチュリー交響楽団とともにラヴェルのピアノ協奏曲を録音するという、思いがけない貴重な機会に恵まれました。さらに昨年は、晩年の大作である二つのピアノ協奏曲を一夜で演奏できていたく機会にも恵まれ、ラヴェルの音楽とより深く向き合うことができました。

— 会場のすばるホールは、これまで何度も演奏をされていると聞いています。

すばるホールさんには、留学中からこれまで何度も演奏の機会をいただきました。あらためて振り返ってみると、このホールで演奏させていただいたプログラムは、どれも私の生涯のレパートリーとなっていくであろう、大切な作品ばかりです。まだオーケストラに慣れていなかった20代前半には、紙芝居のようにトークを丸読みにして、ぎこちなくお話ししていたのが懐かしい思い出です。そんな私の成長をあなたが見守っていただき、いつも魅力的な企画を考えて、細やかなサポートをしてくださるすばるホールのスタッフの皆さまに、心より感謝申し上げます。

— 読者にメッセージをお願いします。

神秘的な美しさとともに、どこか暗い情熱も感じさせる、そんな複雑で魅力的な世界観をもつラヴェルの音楽。一見難しそうに思われるかもしれませんが、実はとてもオシャレでチャームな一面もあり、それはまるでラヴェル本人のようです。今回は、ラヴェルの音楽を写真やお話とともに紐解きながら、より深くお楽しみいただけるコンサートにしたいと思っています。文化庁の支援事業で18歳以下のお子



©Yoshinori Kurosawa

©Interview&Text / 磯島浩彰

9/23 TUESDAY-HOLIDAY [チケット発売中] 「酒井有彩 ピアノリサイタル」

■会場：すばるホール ■開演：14:00
■料金（税込）／全席指定：¥3,000
■お問合せ：すばるホール TEL.0721-26-2060

「関西えんげきサイト」は、
関西演劇の専門サイトです

関西演劇はおもしろい!「関西えんげきサイト」では、関西の演劇アーティストの魅力を発信しています。関西の演劇・公演・情報をはじめ、インタビューや劇評「関西えんげき大賞」や「関西現代演劇俳優賞」の選評も掲載。まだ関西の劇団をご覧になったことのない方は、ぜひ劇場で地元・関西の演劇をご堪能ください!

■公演日 (2025年9月)
12日(金) 14:00～ 19:00～
13日(土) 14:00～
14日(日) 14:00～
15日(月・祝) 14:00～
■会場
一心寺シアター倶楽
(大阪市天王寺区達楽2丁目13)
■料金
一般 3,000円 学生・障害者 2,000円
■ご予約フォーム
QRコードを読み取ってください
■お問い合わせ
cosmic.theater2021@gmail.com
080-7276-4756

第2回関西えんげき大賞(2023)
最優秀作品賞受賞『マリヤの賛歌～石の叫び～』
待望の大阪公演決定!

年間「関西の優秀な演劇作品を顕彰する「関西えんげき大賞」で、第2回(2023)最優秀作品賞に輝いた『マリヤの賛歌～石の叫び～』。受賞後初となる大阪公演が行われる。原案は、慰安婦だった過去を告白した城田すずさんの手記。大阪のベララン女優、金子順子の主演で、一人芝居に仕上げた。くるみざわしん作、岩崎正裕演出。

家の借金のため、17歳で若者屋に、病を機に遊郭に借金となり、さらに外道の慰安所を転々とする。終戦後は進駐軍相手に体を売る。すさんだ心

に灯をともしたのが、婦人保護施設「かにた婦人の村(千葉県)」への入所。生きがいを得て歩み始めるまでの勇気と気力が、しなやかに描写される。渾身の演技。金子順子が、抑圧された者の痛みを、憑依したかのように熱演する。女性達が、安全圏で生きる純真な女と、性暴力を受ける女に二分される不条理。戦火が絶えることなく、現代社会への、痛切な問いかけが込められた、関西から世界に向けて発信したい舞台だ。

(九鬼葉子)

■公演日 (2025年9月)
12日(金) 14:00～ 19:00～
13日(土) 14:00～
14日(日) 14:00～
15日(月・祝) 14:00～
■会場
一心寺シアター倶楽
(大阪市天王寺区達楽2丁目13)
■料金
一般 3,000円 学生・障害者 2,000円
■ご予約フォーム
QRコードを読み取ってください
■お問い合わせ
cosmic.theater2021@gmail.com
080-7276-4756



「バッハ2025 綾なす調和」シリーズ

◎Vol.1「綾と無限」9/25 THURSDAY・26 FRIDAY [チケット発売中] ■開演：19:00
◎Vol.2「バッハのプリズム」10/24 FRIDAY [チケット発売中] ■開演：19:00
◎Vol.3「深き淵より」12/6 SATURDAY [チケット発売中] ■開演：16:00
◎Vol.4「楽器は語る」26 3/7 SATURDAY [12/5(金)～チケット発売] ■開演：14:00
◎Vol.5「揺るがぬ信念」26 3/21 SATURDAY [12/5(金)～チケット発売] ■開演：16:00
■会場：住友生命いずみホール ■お問合せ / 住友生命いずみホールチケットセンター TEL. 06-6944-1188

SPECIAL INTERVIEW 07 神尾真由子 Mayuko Kamio

ヴィヴァルディとピアノ、神尾真由子とめぐる、ふたつの四季

日本を代表するヴァイオリニスト・神尾真由子氏がN響メンバーによる弦楽アンサンブルと共演。ヴィヴァルディとピアノ、異なるふたつの四季をめぐる、特別なプログラムを演奏。

— ヴィヴァルディとピアノ、ふたつの四季を堪能できるとは、スベシャルなプログラムですね。

このプログラムは、2022年に初めて演奏して以来、何度も取り上げてきました。ピアノラの〈フェノサアイレスの四季〉は大好きな作品で、これまでたくさん演奏してきましたから、現在のように音楽ファンの皆さまに親しまれるようになった背景には、私自身、かなり貢献したのではないかと自負しています。

— それぞれの《四季》には、どのような特徴があるのでしょうか？

ヴィヴァルディの《四季》は言わずと知れた名曲で、皆さんどこか耳にしていると思います。春は爽やかで、夏はドラマティックに、秋は静しく、そして冬は叙情的に、日本と同じ北半球の四季が描かれているため、とても親しみやすい作品です。美しいメロディを追求しているだけでなく、嵐の様子や犬の鳴き声、酔っぱらいの様子など、当時のイタリアの生活風景が描かれているのも大きな魅力。ぜひそうした描写に注目して聴いていただきたいです。一方、ピアノラの《四季》は、南米アルゼンチンの全く異なる気候の国の音楽で、エキゾチックな響きが特徴です。それでも、哀愁を帯びたタンゴのリズムは日本人の心によく馴染むと思います。私がいつも演奏しているのは、ロシアの作曲家デャトニコフによる編曲の版で、そこにはヴィヴァルディの《四季》のテーマが引用されているため、プログラム全体に一体感をもたらしてくれます。

— タンゴは遠い異国の地の音楽でありながら、昔から日本人に親しまれていますよね。

そうですね。日本の伝統音楽などの影響もあって、私たちは子どもの頃から自然と4拍子のリズムに親しんでいます。タンゴも同じリズムを基調にしているため、私たちにとって馴染みやすいのかもしれません。

— 今回共演されるN響メンバーの皆さんは、普段から親しい方々ですか？

顔なじみの方が多いのは確かですが、実は私は、そういった関係性が演奏に大きく影響するとおっしゃってはいないんです。それよりも、アンサンブルの編成人数による影響の方が大きいです。今回のように少人数の弦楽アンサンブルですと、一人ひとりの責任が重くなります。その分、各自が口を演奏するかどうかの気持ちで弾いてくださると思いますので、迫力のある演奏をお楽しみいただけると思います。

— ちなみに、神尾さんがいちばん好きな季節は？

夏です。特に春から夏に向かう少しずつ暑くなっていく時期は前向きになれるような気が好きです。ただ、ここ数年のような猛暑は苦手です。できれば「程よい」暑さの夏が良いですね。ヴィヴァルディの《夏》を聴いていると、彼もきっと夏の暑さが苦手だったんだらうなと思えます(笑)。当時はエアコンもありませんし、ヴェネツィアの夏は夏と変わらず湿度も高かったでしょうから。

— 最後に、読者の皆様へメッセージをいただけますか？

ヴィヴァルディは言うまでもなくクラシック音楽の王道ともいえる名曲

です。ピアノラも退屈する暇がないほどどこどころ満載の作品ですから、必ず楽しんでいただけたらと思います。自信を持ってお届けいたしますので、ぜひお越しください。

©Interview&Text / 向後由美

10/18 SATURDAY [チケット発売中] ヴィヴァルディ「四季」× ピアノ「フェノサアイレスの四季」

■会場：京都コンサートホール大ホール ■開演：14:00
■料金（税込）／全席指定：3¥45,000 3¥47,100 AH¥5,500 B¥4,500
■お問合せ：京都エクス TEL.075-353-7202



Tomohei Hori Masato Suzuki 堀朋平×鈴木優人

住友生命いずみホール発、画期的なバッハ・プロジェクトに今期待ください。

住友生命いずみホールが開館35周年を迎えた。記念すべき年間テーマは「J.S.バッハの継承」ということで、5年ぶりにバッハの音楽に取り組みそう。ホールの音楽アドバイザー堀朋平と、バッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者の鈴木優人が開扉を前に記者会見に登場。「バッハ2025 綾なす調和」と題するシリーズに向けた抱負を語った。

— 住友生命いずみホールの開館35周年は年間テーマが「J.S.バッハの継承」ということで、久しぶりにバッハに取り組まれるそうですね。

堀：初代音楽ディレクターでバッハ研究の権威だった磯山雅生先生(1946-2018)が企画・監修した「古典最前線」躍動するパロッド」以来の大型バッハ企画で、バッハの音楽世界が5年ぶりに住友生命いずみホールに再現されます。J.S.バッハの音楽はどのような影響を与え、受け継がれたのか。様々な模様に織り込まれていく「綾なす調和」の足跡を国内外のトップ・アーティストと共に辿りたいと思い、そのままシリーズのタイトルとしました。

鈴木：私の企画(vol.3)は全部で5つの企画のうち、佐藤俊介さん(vol.2)と平崎弓弓さん(vol.4)の考え抜かれた素敵を中心に挑みます。堀さんか企画全体の中心には、カタータ第38番「深き淵からの淵よ」を扱っていただきます。このシリーズは、貴方のバッハ観をどう表現したいのか、何を伝えたいのか、同じ題材を扱って自作の「深き淵より」という音楽曲をぜひにと言って頂き、それを中心に企画が出来上がりまし

SPECIAL INTERVIEW 08

須川展也 Nobuya Sugawa

大和高田さざんかホールの
レジデントアーティスト須川展也、
満を持して始動!

2019年より2年ごとに開催している「SAXフェスティバル」のVol.4が動き出した。今回はアマチュアのサクソフォン奏者が多数集結し、サクソフォン三昧の日が繰り広げられる。ゲストとして作曲家にしてピアニスト加藤昌則が登場。須川展也に話を聞いた。

— 大和高田さざんかホールのレジデントアーティストに就任されたのは2024年。就任後最初の「SAXフェスティバルVol.4」の開催です。

「SAXフェスティバル」という形になったのは2019年からですが、そのずっと前からサクソフンのクリニックなど、地元のふれあいを大切に活動をやってきました。大阪交響楽団のソリストをさせて頂いた時からのお付き合いですが、こんなに深い関係になるとは夢にも思いませんでした。ホールスタッフの皆さまの、フレンドリーで温かな対応が、このホールを訪れるアーティストの胸を打つのだと思います。昨年、レジデントアーティストにも就任しました。これからも益々市民に向けた音楽文化の発展に寄与できればと思っています。

— 「SAXフェスティバル」とはどのようなものですか？

本番の2週間ほど前に集まり、事前に募集を掛けていた初心者と上級者に分かれて課題曲を練習します。今年は、京都市立芸術大学のサクソフンアンサンブルのメンバー8名がサポーターに入ります。普通では難しいことが、ちゃんと指導力がある人がいれば、楽しく格好良く学んで、理想形を実現できる。この経験をも自分の所属クラブに帰って、きちんとフィードバックする。難しいだけでなく、成功体験に結び付けてあげることが大切だと思います。コンサートの裏で、このような事が行われています。もちろん、コンサートも楽しんで、来場者に満足していただくことは当然です。

— 「SAXフェスティバル」本書で演奏する曲を紹介してください。

今回のフェスティバルには作曲家の加藤昌則さんが出演されます。ピアノも指揮も、作・編曲も何でもござれの加藤さんは、色々なコンサートで一緒にしていますが、さざんかホールでは初めてです。1部では加藤さんのピアノと僕のサクソフンピアノの名曲や、サウザーさんのオペラリアアを。その後は須川と、加藤昌則さん各々のソロを。「オリエンタル」という曲を一緒に演奏する稲田彩乃さんは、昔、僕が教えていた生徒さんですが、今では関西を代表するプロ奏者です。クリニックの受講生たちが登場するのは2部から。ここではクリニックの受講生が参加する曲以外では、加藤さんに委嘱した「マドリッド・インスピレーション」という曲を、京

©Interview&Text / 磯島浩彰

9/21 SUNDAY [チケット発売中] 「須川展也 SAXフェスティバル vol.4」

■会場：大和高田さざんかホール 大ホール ■開演：15:00
■料金（税込）／全席指定：一般¥1,500 学生¥500
■お問合せ：大和高田さざんかホール TEL.0745-53-8200

デビュー25周年
山内恵介
五大都市コンサート2025

11/4 開演15:00(開場14:00)
フェスティバルホール
一般 ¥8,800 U30チケット ¥3,000

●チケットぴあ [コード:304-611]
●ローソンチケット [コード:55439]
●イープラス
●CNプレイガイド ☎0570-08-9999
●フェスティバルホール チケットセンター
WEB:窓口

チケット
一般発売
8/23[土]
10:00～

お問合せ ページ・ワン TEL.06-6362-8122 (火・木11:00～16:00)

11/22 開演16:00(開場15:00)
なんば Hatch
【全席指定・税込】未就学児入場不可
一般
U25チケット
¥8,000 ¥2,500

●チケットぴあ [Pコード:302-678]
●ローソンチケット [コード:56381]
●イープラス
●CNプレイガイド ☎0570-08-9999

【Vox&Perc】カルロス菅野 【PJ】森村 秋 【Bass】高橋ガク夫 【Dr】平川俊士 【Tb】三浦直彦 【Conga】荒川琢哉 【To】佐々木正則、奥村 昌、岡崎好朝、松島 隆 【Tb】中野英明、菅平タイセイ 【Bb,Tb】西田 幹 【A.Sax】笠原昌樹、森村祐聖 【T.Sax】アンダー・ヴァル 【B.Sax】安川信彦

出演メンバー(予定)

大和ハウス Special

クリスティアン・ティーレマン 指揮

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

第63回大阪国際フェスティバル2025



©Wiener Philharmoniker / Dieter Nagl

ブルクナー:交響曲 第5番 変ロ長調 WAB 105 (ノヴァーク版)

11月7日[金] 19:00開演 (18:00開場)

S46,000円 A41,000円 バルコニーBOX (2席セット) 92,000円 (全席指定・税込)

※その他席種完売 ※未就学児入場不可

会場・ご予約お問い合わせ (10:00~18:00)
フェスティバルホール 06-6231-2221
<https://www.festivalhall.jp>

◎特別協賛/大和ハウス工業株式会社
 ◎協賛/アイリスオーヤマ、京阪ホールディングス、塩野義製薬、竹中工務店

劇団ヨーロッパ企画の石田剛太が
 自作の人気ラジオドラマを
 初めてステージで演じる特別企画!



びあ関西 40 周年 × 吹田メイシアター 40 周年記念イベント

イマダカネルパーティ

～あなたの夜をちよっととビターなオナの恋で彩りませんか～
 ビタースイートラヴリーディレクナイト～

supported by LOVE FM × ヨーロッパ企画

9.15 月 祝
18:30~

【会場】吹田市文化会館(メイシアター) レセプションホール
 (阪急電車 千里線「吹田駅」西改札口を出てすぐ)

【料金】テール席指定席 5,000円(ドリンク&おつまみ付)
 【脚本】石田 剛太(ヨーロッパ企画)
 【演出】小林 哲也(ヨーロッパ企画)
 【出演】石田 剛太 武田 暁 木下 出 池浦 毅(男役 du Soleil)

チケット 発売中! / QRコード

主催: びあ / 共催: (公財)吹田市文化振興事業団 / 企画協力: ヨーロッパ企画 / 協力: LOVE FM
 お問い合わせ: info_kansai@pia.co.jp

松竹創業百三十周年

大阪は踊る!

制作 松竹

8月19日(火) 午前10時より 電話予約・Web 受付開始!

道頓堀に石油が湧いた!

すべての大阪に贈るエンタメファンタジー

長江健次 大島れい 有紗 暁 松本梨香 前田耕陽 曾我通家太郎

チケットのお求めは
 0570-010010489
 または 06-6580-0363

9月20日(土) 28日(日)
 15時開演 11時開演
 チケット Web 松竹

笑いと涙をお届けします!

二 駕籠や捕物帳
 一 愚兄 愚弟

大 阪 松 竹 座

〒542-0071 大阪市中央区道頓堀 1-9-19
 お問い合わせ 06-6231-2211
 松竹ホームページ www.shochiku.co.jp

神尾真由子 & N響メンバー

によるアンサンブル

ヴィヴァルディ ピアソラ

四季 × 四季

チェンバロ: 圓谷俊貴

10/18 14:00 開演 (13:00 開場)

2025 年

京都コンサートホール 大ホール
 地下鉄北山駅下車 1 番・3 番出口南へ徒歩約 5 分
 ※未就学児の入場はお断りしています。

Program
 A. ヴィヴァルディ 「四季」
 A. ピアソラ 「ブエノスアイレスの四季」

■一般料金 (全席指定) S 席 6,000 円 S 席ペア 11,000 円 A 席 5,500 円 B 席 5,000 円

■チケットお申込 —— 京都ミューズ (下記電話番号)
 ●京都コンサートホールチケットカウンター 075-711-3231 ●ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201
 ●チケットびあ P コード [P290-190] ●e+ (イープラス)

■問い合わせ —— 075-353-7202 月～金 11:00～17:00 <https://kyotomuse.net>

京都ミューズ

SPECIAL INTERVIEW 09

阪哲朗 Tetsuro Ban

紀尾井ホール室内管弦楽団 (KCO) “14年ぶり” の大阪公演

音楽シーンの第一線で活躍する器楽奏者が集い、国内有数の優れた室内オーケストラとして知られる KCO が東京の本拠地を飛び出し、住友生命いずみホールに再登場。客演を兼ねている阪哲朗の指揮で魅惑のプログラムをお届け!

—— シェイクスピアの名高い戯曲にまつわるヴェーバーとメンデルスゾンの作品に、コルンゴルトによる珍しいピアノ協奏曲を組み合わせた興味深いプログラムです。——

今、日本の演奏会ではあまり取り上げられてこなかったハリウッド音楽プロデューサーのマックス・ライナハルトが監督した、映画版《夏の夜の夢》の音楽を(メンデルスゾンの劇音楽を編曲して)手がけたという騒がれもあって、そんなプログラムの仕掛けを解明していく面白さもありまよ。

—— 紀尾井ホール室内管弦楽団とはこれまでにも定期的に共演されていますが、ずばり、楽団としての魅力はどこにあるのか、ぜひ、楽団員の方から伺います。

—— 3 人のソリストや「大阪すみよし少年少女合唱団」との顔合わせも楽しみです。

—— 今、日本の演奏会ではあまり取り上げられてこなかったコルンゴルトの珍しいピアノ協奏曲を提案してくれたのはピアノの阪田 (知樹) さんでした。音楽の歴史においても重要な「通奏低音」を担ってきた左手だけで演奏される、この難曲に彼がどのように向き合い、紐解いていくか皆さんも大に乞うてください。また《夏の夜の夢》では、ソプラノの女二人による極めて美しい二重唱に加えて、可愛らしい合唱団が参加するのも素敵なアイデアで、今回の聴きどころのひとつ。

—— 阪田さんとメンデルスゾンの作品に、コルンゴルトによる珍しいピアノ協奏曲を組み合わせた興味深いプログラムです。——

—— 今、日本の演奏会ではあまり取り上げられてこなかったハリウッド音楽プロデューサーのマックス・ライナハルトが監督した、映画版《夏の夜の夢》の音楽を(メンデルスゾンの劇音楽を編曲して)手がけたという騒がれもあって、そんなプログラムの仕掛けを解明していく面白さもありまよ。

—— 紀尾井ホール室内管弦楽団とはこれまでにも定期的に共演されていますが、ずばり、楽団員の方から伺います。

—— 3 人のソリストや「大阪すみよし少年少女合唱団」との顔合わせも楽しみです。

—— 今、日本の演奏会ではあまり取り上げられてこなかったコルンゴルトの珍しいピアノ協奏曲を提案してくれたのはピアノの阪田 (知樹) さんでした。音楽の歴史においても重要な「通奏低音」を担ってきた左手だけで演奏される、この難曲に彼がどのように向き合い、紐解いていくか皆さんも大に乞うてください。また《夏の夜の夢》では、ソプラノの女二人による極めて美しい二重唱に加えて、可愛らしい合唱団が参加するのも素敵なアイデアで、今回の聴きどころのひとつ。

SPECIAL INTERVIEW 11

市川團子 Danko Ichikawa

京都で始まった市川團子の自己研鑽の場。「自主公演だからこそ大役に挑める」

11/16 TUESDAY [チケット発売中]
 「紀尾井ホール室内管弦楽団 第144回定期演奏会 大阪公演」

■会場・住友生命いずみホール
 ■開演 19:00
 ■料金 (税込) / 全席指定 SW7,000 AV5,000
 ■お問合せ 日本製鉄文化財団 TEL.03-5276-4500

市川團子 11/16 TUESDAY [チケット発売中]
 「紀尾井ホール室内管弦楽団 第144回定期演奏会 大阪公演」

■会場・住友生命いずみホール
 ■開演 19:00
 ■料金 (税込) / 全席指定 SW7,000 AV5,000
 ■お問合せ 日本製鉄文化財団 TEL.03-5276-4500

SPECIAL INTERVIEW 10

杉原邦生 Kunio Sugihara

恋に翻弄される人間たちの愛らしさを「カワイイ」をキーワードに演出

「ハムレット」などのシェイクスピア劇、「グリークス」などのギリシャ悲劇、木下尚江歌舞伎での創作や歌舞伎座「新・水滸伝」などの歌舞伎作品、さらにはミュージカルから現代劇まで、幅広く演出してきた杉原邦生が、歌劇「愛の妙薬」で初めてオペラの演出に挑む。

—— これまでオペラにはどのような興味をお持ちでしたか。——

京都造形芸術大学 (現・京都芸術大学) の映像・舞台芸術学科で学んでいたときに、僕は演出家を目指すと決めたんです。調べると、欧米では著名な演出家は必ずと言っていいほどオペラを演出していたんです。日本で、作・演出を兼ねることのほうが圧倒的に多い中、演出を主として活動している演出家はやはりオペラをやっていた。だから、オペラを通じていなければ世界的には演出家と認めてもらえないのではないか、僕もいつかはオペラを、学生当時から一つの目標にしていたんです。

—— そんな中、ついに、この「愛の妙薬」で初演出の依頼がきました。

本当に光栄です。「待ってました!」という感じで(笑)、嬉しかったんです。ただ、これまでどちらかというと悲劇を演出することが多かったので、喜劇というのがとても意外で驚きましたけど。でも、今年3月に「アンサンブル・イーズ」彼らにも名前はある——という作品で、シニカルな笑いを特徴とされている松尾スズキさんの戯曲を演出させてもらったことで、笑いの演出に対する意識に変化が出てきた気がするので、この作品も楽しみです。

—— 杉原演出の「愛の妙薬」は、何が観になっていきますか。

「カワイイ」をキーワードに、視覚感と多幸感あふれる作品にしたいと思っています。「カワイイ」は今や世界的な共通語となって、ポジティブに多様なものを受け入れる言葉になっていますから、たとえば衣裳などのビジュアルでも、時代や国、ジェンダーなどがボーダーレスな形で「カワイイ」を表現できたらいいな——という。加えて、今回の演出では、これまで僕らの演出作品に出演経験のある俳優とダンサーに、これまでに登場しないキャラクターを演じてもらおうと思っています。きっと彼らは、舞台上で起こることを素に見守り、関わり続け、時には登場人物たちが動かしていくような存在になるんじゃないかと思っています。そういう存在がいることで、また別の視点から人間たちの「カワイイ」を表現できたら面白いんじゃないか、とか。オペラをたくさんご覧になっているお客様には、お祈りを受けるような結果になってしまうかもしれませんが(苦笑)。

—— でも、これまでも歌舞伎にラップを取り入れたり、意表を突く演出で注目されたことは多かったですが、すべて、作品の核心を今に伝えるための発想だったように思います。

自分としても、思いつきでやっていることは一つもなく、戯曲に書いてあることを自分なりにシンプルに解釈しているだけなんです。そうやって古典作品や海外の戯曲をたくさん演出する中で、現代の観客に届ける、という作業を積み重ねてきているので、今回初めて僕の演出に触れることになる観客の皆さんにも、そこはもう半分騙されたと思って(笑)、信じていただけたらと思います。僕自身、演出家としての幅を広げられるのではないかと楽しみにですし、オペラを観たことのない方が僕の演出をきっかけに興味の幅を広げていただけたら、こんなに嬉しいことはありません。それってすごく豊かで幸せなことだと思うんです。

2025年度全国共同制作オペラ 歌劇「愛の妙薬」 (大阪公演) 11/16 SUNDAY [チケット発売中]
 ■会場・フニーチ劇場 大ホール ■開演 14:00
 ■料金 (税込) / 全席指定 SW13,000 AV11,000 BV9,000 CV5,000
 ■お問合せ・フニーチ劇場 TEL.072-223-1000

〈京都公演〉201/18 SUNDAY [チケット発売中]
 ■会場・ロームシアター京都 メインホール ■開演 14:00
 ■料金 (税込) / 全席指定 SS¥13,000 SV¥11,000 AV¥8,000 BV¥6,000 CV¥4,000 DV¥3,000
 ■お問合せ・ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201 (10:00~17:00)

SPECIAL INTERVIEW 11

市川團子 Danko Ichikawa

京都で始まった市川團子の自己研鑽の場。「自主公演だからこそ大役に挑める」

昨年より市川團子が京都芸術劇場 春秋座で立ち上げた「新報春秋会」。素踊りで魅せる「種時三番星」、「女方の登門曲」と言われる「藤娘」、そして祖父の二代目市川猿翁から受け継がれる衣裳による「流星」と、第一回に続き、今年もすべての演出で初役に挑む。

—— 「新報春秋会」について教えてください。

自分の研鑽の場として2024年から始まりました「新報春秋会」ですが、「春秋会」というのは私の高祖父(初代 市川猿翁)から使っている会の名前で、祖父も同じ名称で会を開き、公演をしました。同じ名前の会で公演ができることが嬉しい、とも思いますが、未熟ながらも背伸びをして大きなお役に挑まさせていただきます。演目はもちろん、チラシや特典映像など、「自分が良い」と思うものをお客様に届けたいです。

—— チラシにも團子さんの思いが詰まっているそうですね。

一番注目してほしいのは、「新報春秋会」題字です。祖父が生前に書いた字を寄せ集めて、なんとか文字全てが揃ったんです。特に注目していただきたいのは「春秋」で、これは祖父が京都芸術劇場 春秋座の初代芸術監督に着任し、こけろ落とし公演として「日本振袖始」を上演した時の縁取に「春秋座こけろ落とし」と書いていたもので、その「春秋」からもらったものなんです。

—— 上演する三演目について教えてください。

絶対挑戦したいと思ったのは「藤娘」でした。僕は女方の経験が少ないからです。「種時三番星」はご宗家(春秋座芸術監督・藤間勘十郎)が提案してくださりました。「春秋会」を立ち上げた高祖父と、ご宗家のご祖父様(六世 藤間勘十郎)が「種時三番星」で共演されている映像の存在を知っていたので、「あの踊りをさせていただけませんか?」と、今すぐ踊りたいということを決めました。「流星」はコミカルな踊りで、すごく茶目っぽい一面をお見せできるよう頑張ります。また、今回は祖父が平成3年に「流星」を踊った際に着た衣裳をそのまま着させていただきます。これは毛利臣男さんがデザインしたもので、その排えが本当にカッコいいので、それも見どころの一つです。

—— 「流星」では衣裳にもありますね。澤山屋に伝わる衣裳の美学を教えてください。

祖父の「由美子や早替り」といったクレンと呼ばれる演出は、そこに意味や必然性がないと、ただ派手なだけで終わってしまうからダメだ!という言葉にはハッとさせられたのを覚えています。

—— 藤間勘十郎さんからは、どんなことを学ばれましたか?

たとえば踊りの中で、なぜその振りがついているのかという意味を理解しているのと、理解していないのでは全く同じ振りの動きをしていても見え方が180度変わります。踊りの基本的な形や、身体

市川由紀乃

病と治療を乗り越えた市川由紀乃の待望のステージ! より一層深みを増した歌声を、ぜひ南海浪切ホールでお聴きください。

11/9 日 開演 14:00

南海浪切ホール 大ホール

南海本線「岸和田」駅から徒歩約15分

全席指定 一般 ¥6,500

※未就学児入場不可

A R T 歌舞伎 ~DEEP FOREST~

8th November 2025

5 年前、伝説の配信公演 A R T 歌舞伎 初の劇場公演!

Sho Asano 清龍 Tomoya Nakai

TORTUE NOIR Taishi Yamabe

Saotome Spirit

公式 X 公式 Instagram

11/8 金 16:30/19:00

at 観世能楽堂 (GINZA SIX)

チケットびあサイトにて、チケット好評発売中! 「チケット ART歌舞伎」の語順で検索!

2025年10月・11月

京都南座

公演のご案内

市川團十郎 特別公演 三升先代萩

歌舞伎の世界 Invitation to KABUKI



10月 10月10日(金)→26日(日)

【窓口販売・切符のお引取りは9月11日(木)より】
窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

9月9日(火)午前10時電話・Web 受付開始

市川團十郎が見せる新たな歌舞伎の世界!

夜の間 午後四時開演

歌舞伎の世界 Invitation to KABUKI

二、三人 藤娘

三、菅原伝授手習鑑

四、荒事絵姿化粧鑑

市川團十郎「暫」の搭えを
舞台にて相観め申し候

星の部 正午開演

伊達阿蘭丸 狂言

三升先代萩

市川團十郎 藤娘

菅原伝授手習鑑

荒事絵姿化粧鑑

星の部は南座初上演となる『三升先代萩』で、團十郎が七役早替りを勤めます。「伊達阿蘭丸」を歌舞伎化した名作『伽羅先代萩』に、成田屋ならではの演出を加えた通し狂言にご期待ください。

夜の部は「Invitation to KABUKI 歌舞伎の世界」と題して、華やかな舞踊『二人藤娘』や豪快な荒事『車引』のほか、東京オリンピック2020の開会式で披露した『暫』の搭えができるまでを、團十郎自ら舞台上で実演する『荒事絵姿化粧鑑』を上演いたします。通常は幕を閉じて行われる大道具の転換を、幕を開けた状態で皆様にお見せしたり、60キロほどもある『暫』の衣裳の重さをお客様にも舞台上で体験していただいたり、これまでにない趣向を取り入れ、ご覧いただけます。

『暫』の搭えは20分ほどかかりますが、『三升先代萩』では10秒ほどで違う役に早替りするなど、昼夜それぞれで様々な歌舞伎の魅力をお楽しみいただけます。歌舞伎ファンの方も、初めてご観劇の方も驚く演出が揃った本公演にご期待ください!

【星の部】『三升先代萩』
市川團十郎 藤娘
菅原伝授手習鑑
荒事絵姿化粧鑑

【夜の部】
藤娘
菅原伝授手習鑑
荒事絵姿化粧鑑

市川團十郎 藤娘
菅原伝授手習鑑
荒事絵姿化粧鑑



10月	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
星の部12時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
夜の部16時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



11月 11月1日(土)→24日(月)

10月9日(火)午前10時 電話・Web 受付開始

【窓口販売・切符のお引取りは10月11日(木)より】
窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

11月の南座は 笑い泣きの上方喜劇を豪華2本立て!

錦秋の京都で藤山直美が熱演!

あらすじ

二、お祭り提灯

ある日のお祭りでにぎわう町内でのこと。金貸しの幸兵衛は、正直者の提灯屋・徳兵衛が拾った祭りの寄付金二十五両を横領しようとする。徳兵衛は財布を提灯に隠すが、妻のおすみは夫のへそくりと誤解し、別の提灯に入れ替えてしまう。二十五両を巡り、徳兵衛夫婦、世話役の佐助と勘太、幸兵衛、そして丁稚の三太郎までもが巻き込まれ、事態は思わぬ方向へ。果たして、財布の行方はいかに!?

一、一姫二太郎三かぼちゃ

田舎の旧家・西田家の兄弟たちはみな都会で成功を収めていた。しかし三女の留代だけは実家に残り、両親の面倒を見て暮らしている。母・ひさ江の古希祝いで帰省した兄弟たちは都会での成功談に花を咲かせているが、留代は蚊帳の外。幼い頃から馬の合わない兄弟たちに馬鹿にされながらも、両親のためと耐え忍ぶ。

この時、留代の家族愛が兄弟たちを救う日が来るとは、誰も知る由がなかった...

松竹創業百三十周年

南座錦秋公演

上方喜劇まつり

三林京子

大津嶺子

中村亀鶴

藤山直美

いま寛大

二、一姫二太郎三かぼちゃ

三、お祭り提灯

製作 松竹

京都南座 四條

チケットホン松竹 (10:00~17:00) 0570-000-489 または 06-6530-0333

チケットWeb松竹 (24時間受付) チケットWeb 松竹

チケットぴあ Pコード びあ 南座 w.pia.jp/minamiza/

ローソンチケット Lコード ローチケ 南座 l-tike.com/minamiza/

イープラス e+ 南座 eplus.jp/minamiza/

団体の申し込み・お問い合わせは 075-561-1155 (販売営業) まで
前売券取扱所: 南座・大坂松竹座・歌舞伎座・新橋演舞場